京城日報

事紙定價　一箇月七十五錢　廣告料金　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社　發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介

三月二十四日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇人種差別撤廢問題
我委員規約の修正を提議せん

十八日牧野珍田兩委員は米國委員ハウス大佐を訪問せり其用向は人種的差別撤廢に關し國際聯盟規約の修正を提議せんが爲め國際聯盟委員會議の日取を打合せたるなりと人種差別撤廢問題に就ては先中立國の意見を徴したる上日本委員の意見を聽取さるべし國際聯盟中に人種差別撤廢を挿入するに就ては或は原則として記入さるべしと示ひ或は不可能なりと云ひ報道區々たり（巴里電報）

◇ヒューズ氏飽く迄反對
人種差別撤廢の規約挿入に對し

濠洲首相ヒューズ氏曰く濠洲は人種の差別待遇撤廢に關する條項を國際聯盟中に挿入することに反對す蓋し斯る條項を挿入せんか日本人は續々濠洲に入込み來るべし吾人は日本移民に對しては嚴に言明せる立場より一寸たりとも退くものに非ず吾人は斯る條項が國際聯盟中に挿入せらるゝか又は他の形式の下に講和會議に於て再現せられ吾人の利益を毀損せんとすることに對しては斷じて承認する能はず（倫敦電報）

◇差別撤廢とウ氏

市俄古トリビユン紙巴里特電は曰く米國大統領ウィルソン氏は日本講和委員松井大使に對し國際聯盟規約中に日本人が白色人種と同等の移民權を有すべきことを規定せる特殊の條項を挿入することは不可能なりと述べたるが松井大使は是に對し日本は同問題に關する討論の爲めに國際聯盟に加入することを延期することは無かるべしとの約束を與へたりと解せらる又一報に依れば松井大使は日本は更に或る時機に於て移民に關する問題を提起し又聯盟加入國に於て日本人の勞働者及び其他の事項を處決せんとするに對する差別的待遇の撤廢を提議し得るの權利を保留したる後大統領ウィルソン氏の說を承諾したりとの說もあり兎に角米國大統領との間に目下爭點の解決が出來得る限り延期すべしとの紳士協定成立したるものと解せらる（紐育電報）

◇戰爭責任者調査

戰爭責任者調査委員會にては戰爭企圖者の全行爲は慘虐無謀にて講和會議は本件を處理する爲特別の一機關を創設せんとを決議せり此決議は如何なる階級にも正義にして適法なりと信ぜらる（倫敦電報）

◇阿片條約提出乎

問題たりし阿片條約は愈々講和會議に提案を見るに至らんと（巴里電報）

◇獨艇脫走を企つ

フェロール十五日發電報に依れば獨軍より聯合軍に引渡し港備の爲め抑留中の潜水艇ユー四十八號は逃走を企てたるも西班牙驅逐艦に追跡せられ將に拿捕されんとする際水中に沒したり併し乘組員は海上に浮び出で驅逐艦に救助せられたり（馬德里電報）

◇埃及に暴動起る

埃及に暴動起りたるも大事に至らずして鎭定せり（倫敦電報）

◇英國海軍力標準

英國海軍力は戰前の狀態を標準として維持する事に決定せり（倫敦電報）

◇西鐵管理委員會

廿一日東淸鐵道倶樂部にて最初の西伯利鐵道管理委員會開催され日英米佛伊露支の聯合國委員列席せるがスチーブンス氏議長席に就き日本側よりは長尾鐵道院書記官以下大村中村山田山下石田長野の諸技師金井參事等の外諸識よりは岡本田村庶務課長等出席せり尙各國委員は列車内に宿泊し居れり（哈爾賓電報）

◇過激派休戰提議

過激派は小露西亞に休戰を提議せり（倫敦電報）

◇共產主義の宣傳

勞農政府は共產主義大隊を組織し世界的に宣傳を試む可し（倫敦電報）

◇陸氏の和平督促

支那講和委員陸徵祥氏は總統に打電し各講和特使は支那南北の紛爭を四月中に解決せん事を希望し否らざるに於ては恐らく之を歐洲の講和會議に提供せん事を要請す可し仍て西南各首領に對し速かに反省せん事を傳へられ度しと（北京電報）

◇四國公使再勸告

北京駐劄四國公使は支那政府に對し第二次勸告を爲すべし（北京電報）

◇支那公使後任

章駐日公使の歸國と共に駐日公使の更迭を見る可く後任は林長民汪庸兩氏中の何れかなるべし（北京電報）

◎騷擾と經濟界
元山地方の影響

今次の騷擾の元山地方の經濟界に及ぼせる影響に就き元山商業會議所の調査せる所に據れば元山地方の鮮人部落に於ける商取引は妥動の事件勃發以來著しく不振に陷りたり其

▲顯著なる狀 を摘記せば附近各郡即ち咸興、永興（鎭興場）定平、文川、安邊等の各市場は今回の不穩事件以來其筋より開市を停止せられつゝあり從つて唯一の取引機關たる開市の杜絕は直ちに地方人自體の生活上に影響を來し金融は全く停止せられたり而も幸に停止を免れたる地方に於ても種々の流言行はれ徒らに良民に危惧の念を與へたる爲め彼等の出市を逡巡せしめ市況の不振は想像に餘りあり今比較的此影響の僅少なる元山鮮人町に於ける開市狀態に就き之を見るに本年一月中の開市六回にして其取引金額一回平均五千二百三十六圓又

▲二月に入りては舊正月の休業者多かりしを以て其平均取引高四千百九十圓を示したり然るに三月の取引高は既往四回の開市を平均して漸く三千七百十三圓に過ぎず例年の殷賑期たる二月中に比するも毎市尙約五百圓を減少し更に一月に比すれば實に毎回一千五百餘圓即ち一箇月六回の開市に九千餘圓を減じつゝある狀態なり更に三月一日即ち妄動の突發したる前後の開市取引高に對比すれば事件前（二月廿五日）の開市取引高は六千四百五十一圓を算したるに事件後（三月十六日）の開市取引高は僅に一千五百九十九圓に過ぎずして四千八百四十二圓を減少せり而して內地人對鮮人取引の影響を見るに鮮人部落に於ける

▲開市の狀態 前述の如くなるを以て其需要の中樞地たる元山に於ける當業者は自然對鮮人取引に至大なる影響を蒙りつゝあるは當然の結果にして米、大豆等の出廻りは杜絕し更に內地人側より供給する綿布、粟、稗其他の物資は其賣行停止せり而も新規取引の中絕は延いて既往に於ける取引代金の決濟を澁滯せしめ爲に著しく金融の硬塞を來しつゝあり其他開市に關係を有せざる取引に於ても一般內地人側に於て取引の危險を慮かり此の新なる買付或は投資を爲さゞる一方鮮商側にありても

▲自己の思惑 感情等の誤解せらるゝなきやを恐れ之亦此際成るべく內地人と接觸するを避けんとする傾向を生ずるに至りたる等兩者の間を一層疎隔して商況沈衰せしめつゝあり殊に此關係は啻に地方のみに現出したる現象にあらずして全鮮に亘りて其の傾向を等しうするもの〻如く現に元山地方に對する京仁其他各鐵道沿線主要地よりの海產物（主として明太、鰊等の時期品）買付注文の著しく減少したるに見るも明かなり縱つて事業界と物價に及ぼす影響を見るに多數鮮人を使役する事業例へば鰯山業

▲水產業の如 きは今日の如き不安なる狀態尙永續せんとするに於ては到底健全なる事業の計畫を遂行し得ざるは勿論殊に鮮沿岸に於ける各種漁業の如きは大資本を要する或る特種漁業を除くの外其大部分の漁業權は鮮人の手に許可又は免許せられありて其等の多くは內地人側の投資と相俟ちて事業經營の系統を形成するものなるに今日の如き狀態の下に資本と權利資本と勞力提携の危險を感じ寒心に堪へざるものあり而して騷擾に基因する

▲物價の變態 は既に日と共に實現しつゝあり其一例を舉げんか日常品たる薪炭は甚だしく出廻りを減殺して在荷薄を來し大勢漸く低下の狀に入れる米穀雜穀は出廻り僅少となり次第に當用向在荷薄を餘儀なくせしめ遂に大勢の如何に拘らず地方的相場を現はさんとしつゝあり綿布類並に期節水產物は荷捌き不振の爲め買取引の有無に係はらず氣配軟弱となりつゝある等其打撃少からず又內地人相互間の金融經濟上に及ぼせる影響に就て見るに鮮人相互間の經濟關係が內地人相互の金融經濟上に波及するは言を俟たず即ち鮮人取引關係を有する內地人の依つて立つ金融經濟關係は直ちに商工業者の警戒となり他面內地人取引代金の決濟を阻害するは自然の趨勢たる可く延て此狀態に放任せんか將に經濟界の前途に至大なる變調を惹起せんも計り難き情勢にあり（元山）

◎山縣總監東上

山縣政務總監は今期議會に政府委員として出席すべき筈の處種々用務の爲め延引せるが數日中京城出發政府と事務打合の爲め東上の筈なり

◎吉會線敷設と朝鮮
新田鐵道局工務課長談

新田鐵道局工務課長は今回當地出張中の處二十三日午後五時十分京城着列車にて歸任せるが氏は語りて曰く

▲今回の出張 は別段用務を帶びて行つた譯では無く過般來吸した支那の吉會線踏査員と共に會寧から龍井村附近を視察して來た丈けの事である吉會線敷設の事は夙くから唱へられて居た事で早晩何等かの日支間に具體的の協定を見たる上に建設されるのであらうと云ふので無論其實現期も不明で未だ其出資條件さへも之れから協商をしようと云ふ譯である目下吉林會寧兩方面から踏査を行つてる支那の技術員も先方で

▲協商上必要 であるから行つてる事で必ずしも實行踏査ではないのである傳ふる所に依れば此契約は津浦鐵道の例に據る事となるであらうとの事である吉會線の工事は現に建設中の咸鏡線の工事位のもので相當難工事であるが途中に海廣嶺、哈爾巴嶺、老爺嶺の三つの難所があつて建設費も一哩二十五萬圓乃至三十萬圓位入費であらうと思ふ朝鮮として接續工事に就て關係のある所は會寧に接續する事になるので其接續點に於て多少の關係を有するのみで會寧から直ちに豆滿江を渡れば

▲交涉は至極 僅であり多少河下に出て渡るとなればそれ丈け關係が幾分とも增ゐると云ふのみである豆滿江の河幅は會寧邊で二千尺下に行けば六百尺位の所もあるが河口より可成距離があつて通行の舟も大きいものは無いので橋脚も幾分高くすれば舟行に不便を感ずる事は無い吉會線完成の曉朝鮮鐵道の直接受ける恩惠は清津間の僅六十哩に過ぎぬのであるが間接に受ける利益並に日本海を橫斷して裏日本との交涉には相當價値あるものであらう

◎電興株割當法
百廿株以下は切捨

朝鮮電氣興業會社の株式割當ては東京創立事務所にて銓議の結果百廿株以下の應募者は全然募入外れとし百二十株以上の申込者に對しては按分により公募株數を割當つる事となれる旨東拓支店に入電ありたり但し按分率等の詳細は一兩日後に至らざれば判明せず

◎移民收容漸增

東洋拓殖會社の第九回移民來鮮數は三月二十日までに釜山に上陸せしもの第一種移民百五十戸第二種移民十三戸合計百六十三戸六百人又在鮮者の移民として收容地に移住したる者第一種百十二戸二種十一戸に付き合計第一種二百六十二戸二種二十四戸の收容數を示し之れ承認數たる一種五百五十一戸二種四十八戸に比すれば五割以上となり居れるが三月下旬は渡來數多きに上るならん

◎上半各港貿易

二月上半に於ける朝鮮貿易輸移出六百十五萬五千圓輸移入八百八十四萬八千圓の各港の貿易別を舉ぐれば左の如し

	輸移出	輸移入
仁川	[illegible]	[illegible]
群山	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]
鎭南浦	[illegible]	[illegible]
京城	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]
木浦	[illegible]	[illegible]
大邱	[illegible]	[illegible]
馬山及鎭海	[illegible]	[illegible]
淸津	[illegible]	[illegible]
城津	[illegible]	[illegible]
新義州及龍巖浦	[illegible]	[illegible]
平壤	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

◎出穀減少す
原因如何

近來仁川、釜山、群山等の開港場並に京城の如き消費地に對する米產地よりの出穀激減の傾向を呈し平澤水原鳥致院等各驛の如き廻穀旺盛の地方にも殆ど奧地より搬出を見ざる狀況を呈し居れるが右は穀價暴落の結果生產者並に奧地貯米筋に於てその放資を澁り居れるもの若くは騷擾事件のため自然廻穀の減退を來したるものなるかは金融業者に於ても疑問視しつゝある所なるが出穀の不振は恐らく右兩樣の意味を含めるものなるべく更に開港場の米商人が思惑米の買溜に商賈し居れるも然も手持米は多く高値時代の買ひ附物に付容易に失の見切りつかず手放し難き事情あり且つ銀行の米穀買ひ出資金融通は益々嚴酷となりつゝあるに付旁奧地に向つて買ひ出しの手を延ばし得ざるに坐するならん從つて產地よりの廻穀を見る時期は同港場に於ける滯穀の一巡內地に積出されて倉庫に荷隙を生じ商人の手許も稍餘裕を生ずるに至らざれば來らずと見るを至當とすべく現在の如く米價不振を續けては騷擾の鎭定を見るも尙容易に出穀の盛況を再現する事は困難なるべしとせらる

今期議會 鮮滿關係問答（廿七）
貴族院第六分科會

財政獨立財源（下）

▲政府委員（鈴木穆氏） 唯今の御尋ねに就きまして御答を致しますが、先づ第一の御尋ねが關稅制度の改正に依る歲入の減額に付て、御尋ねがありましたが、是は先刻も申上げました如く、一般關稅制度の改正の時期に於て內地朝鮮間の關稅を撤廢致しましたと假定しまして、其場合に於ける朝鮮の歲入減がいくら、又今年八年度に計上してありまする、輸出稅の撤廢に依る歲入減が幾ら、斯う云ふ事に就いて申上げますが、第一に一般關稅制度整理の場合に於きまする、減額の見込は甚だ確實でございませぬ、朝鮮の輸入稅は從價稅になつて居りまして、一昨年頃から此時局の影響を受けまして、著しく運賃及び物價の騰貴に依りまして、輸入品の價格の騰貴を來しました、又一には朝鮮に於ける經濟勃興の機運に乘じまして、輸入品自體の增加もありまして、現今の狀勢を以て、假に進むものと假定いたしまするときは、先づ七百萬圓の減額になる 斯樣に見込んで居ります、併し多少物價の低落、又或種類の輸入品の減額もありませうで、先づ六百萬圓から七百萬圓と斯う云ふ風に見て置いたならば間違がないと云ふ風に、私の方では見込んで居ります、それから第二の輸出稅撤廢に依る 減少は八十五萬圓 と豫算上見込んで居ります、それで此補塡財源と致しまして、砂糖消費稅及び印紙稅を起すと云ふことを申上げましたが、印紙稅は證券類に貼付しまするのでありまするが、此分と致しましては、約二十萬圓に見込んで居ります、是は御承知の如く色々の取引證券其他の證券等に貼付を致しまするので、餘り最初より非常に嚴格に之を施行すると云ふことし難い事情がございます、殊に御承知の如く內地に於ても、最初は餘ほど內輪に見積つたのであります、そして此見積は今日銀行券引の上から想像いたしまして、最も確實と思ふ數字を舉げましたのでありますから、實際に當りましては、多少增加するかとも考へて居ります、其次に地稅の變更に依りてどう云ふ風に、地稅が增したのかと云ふ御尋ねでありますが、是は御承知の如く土地調査に依りまして、一定の方法に依り地價を附しまして其地價の千 分の十二 と云ふことに致しますので在りまするが、此結果或地方の租稅は多少殖ゑ、又其の殖ゑたる地方の中に於ても地味交通の狀況によりまして、更に增減があると云ふことは、是は御承知のことと思ひますが、斯樣なことに一時的の整理を致しまして、增加を致しまする租稅が 百六十餘萬圓 であります、それから第四の御尋ねの關稅制度改正等に依り、財源補塡の爲に將來如何なる稅種が適當であるかと云ふ、御尋ねのやうに承知いたしましたが、左樣で……（東京支局）

◎殖銀仁群支店

朝鮮殖產銀行にては全北忠南各要地に支店を有するも兩道の出穀地に於ける移入品の吞吐をなす群山には一店を有せず爲替その他の取引上不便少からず又京城と密接の關係あり對支貿易並に內地との交易上重要の地位にある仁川にも一支店を有せざるに付兩地に支店を開くべく既に家屋の準備並に人員の配置も內定し居れるに付總督府より開設命令あり次第開店の運びに至るべく遲くも四月中には營業を開始すべしと

◎京城物價調査

朝鮮銀行調査二月中に於ける京城重要商品の物價騰落狀況を聞くに生產品輸移入品の指數平均は二六八、九一（明治四十三年十月の物價を一〇〇とし）にして之れを前月二六五、八七に比し三、〇四の騰貴を示し更に生產品のみを見れば月末米穀の暴落ありしも尙ほ同月中の平均相場は未曾有の高値を示し米以外の各種生產品も硬調なりしため指數二七六、九四にて前月の二六八、八三に比し八、一一の騰貴なりしが輸移入品は麥粉綿絲和金巾その他の漸落あり結局指數は二五八、五七にして前月の二六二、〇七に比し少許の低落となり居り例によつて各品の騰落狀況を舉ぐれば左の如し

生產品

▲騰貴十一品 玄米、精米、小麥、大豆、葉煙草、鹽、油、松挽材、朝鮮紙、牛皮、牛脂
▲保合一品 大麥
▲低落六品 小豆、眞荏、明太、木綿、松薪、木炭

輸移入品

▲騰貴五品 精糖、淸酒、支那紬、石油、木材
▲保合二品 醬油、麥酒
▲低落七品 麥粉、綿絲、和金巾、打綿、石炭、金物、洋紙

尙ほ三月中は米價の崩落を主とし綿絲布その他の下押しあり大體に於て低落し居れり

◎水產組合總會

釜山に於て開會中なりし朝鮮水產組合第七回總代會は廿日を以て終了したるが同會に於ける議題は大正七年度追加豫算四千百七十五圓の經費增加に係る承認組合規約變更に伴なふ鮮人組合員費增徵（從來內地人組合費の四分一を徵收せしを本年度より二分一に增額徵收）八年度豫算十七萬九千百七十三圓十一錢を承認し新に退職慰勞金給與規定制定役員改選等なるが出席者は谷水產課長各技師林組合長鄕副組合長各道總代等數十氏也

◎師團長張宴

第十九師團長高島友武子は二十四日午後六時より朝鮮ホテルに京龍官民有力者を招待張宴す

◎持地長官東上

持地遞信局長官一行二名は二十四日朝南大門驛發東京に向け出發せり

◎李完用伯訪府

李完用伯は二十四日午前用務の爲總督府に長谷川總督並に山縣政務總監を訪問せり

◎食堂車聯結決定

四月以降に於ける食堂車聯結列車及び區間は左の如く決定せり

第三、四列車 釜山南大門間和洋料理
第一、二、五、六列車 釜山安東間西洋料理

人事消息

▲田中直道氏（平安南道事務官）二十四日入城不知火へ
▲吉田恒男氏（大阪貿易商）同上
▲殿野萬之氏（殖銀浦項支店員）二十五日朝出發の豫定
▲米山久郎氏（東拓拓務課長）二十五日夜歸城すべし

八面鋒

◆曾て前獨帝が、一代の大野望たりし、世界統一の政策として、其の計畫に臨たる處なるバグダット鐵道は、增長したる彼の誇大妄想より惹起せられたる世界大戰に依て、見事に破壞されたるは、世人の悉知する處なると同時に、バグダット鐵道所有者が、今後の世界に於て、經濟上、軍事上、如何に偉大なる勢力を、擾押し得るかも、亦世人の能く知ると共に、更に同鐵道が、東洋に如何なる影響を齎すべきかは、重要なる大問題たり。

◆巴里會議に於て、國際聯盟が、最大重要事たりしは、既に世界の問題に次いで、重大なる問題は、バグダット鐵道問題ならざるべからず。英國が佛國の熱心なる贊成に依り、海峽隧道の開拓計畫は、唯に英佛同盟を堅固ならしむるよりも、上の良策のみとなすか、吾人は近き將來に於て、倫敦バグダット直通列車が、佛國に顯はるゝの日の來るを、敢て疑はざる者也。戰役に於ける新世界が、如何に活躍的に製造せらるゝかは、最も興味ある問題にして、且つ吾人が今より其時代に處せんとするの新策を講ずるは、決して未だ尙早なりと云ふべからず。

◆露國過激派は、衰へたるが如くして、未だ衰へず。獨逸に於ける過激派は、幾多も其の勢力を盛返して、依然として獨逸を混沌たらしむ、洵こに以て手數の係る連中なり。過激派が露國に於て、窃に其兇暴を逞しくし、將又獨逸に於て、勝手の振舞をなすは、亦吾人の關知する處に非ず。然れども、彼等が其の手先たる、支那人を使嗾して、支那國內に其勢力を扶殖せんとし、上海に大會議を開催すべしと報ぜらるゝは、油斷なり難き問題たり。支那は既に南北和平に於ても、自ら再び決裂せんとし、實に爆發扉上にあるの形勢なれば、之に過激派の乘ずる處あらんか、思ひ半ばを過ぐるものあらん、眞に寒心に堪へざるもの也。

富を得んとせば
斯の如き堅實一方の絕對に有利なる方法に投資あれ

投資せんとするには先づ其投資物より得る利益を確實に保證し得る、毫末も危險性を帶びない最も安全なる事を確認したる上でなければならぬ

本會の利殖法は株式差金取であつて最も此意義に適ふものである、何となれば株式の賣買も差金取ならば如何なる變動に際しても絕對に損失する憂ひがない、且つ投資額に對し比較的多額の利益を得らるゝ事を確實に保證し得るを以てゞある

差金取とは取引所に於ける各種の取引方法を利用して同種證券の同時に現はれる價格の相違即ち市鞘或は開きを利得するを云ふのである、故に此方法は株式が暴騰しやうとも又は暴落しやうとも少しも危險も伴はないのであるから投機的確實でない逃りロとは全然違ふのである、差金取のことを普通鞘取とも云ふ、鞘取と云ふは定期の限月三つある其の三つの各相場の差違を見て近い限月で買ひ遠い限月で賣る事を指すも其外鞘取方法としては左の三種の方法がある

一、定期取引の限月による鞘取
二、現物と定期との鞘取
三、場所の相違によつて生ずる相場の鞘取

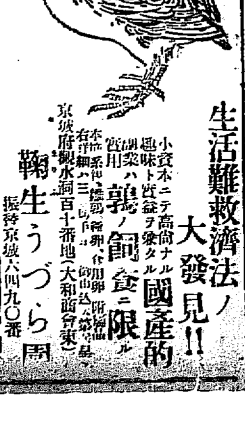
本會は右の三つの何れかの方法を常に適宜に繰返し收利するのであるが、未だ鞘取の如何なるものであるかを解しない人へ其一般を茲に詳說して見度いが普通鞘取は餘り複雜に亙り且つ定期取引の方法より詳述しなければ了解が出來ないから鞘取中比較的解し易い場所の異なりに由り生ずる相場の鞘取法を說明する、此鞘取は京阪兩市場內に深い經驗を有する人たる事勿論である

例は東京市場と大阪市場との立會時間中東京大阪間に長距離電話を以て通信し居る所の同一株の鞘（差金の事）を取るのである、但し之れは時の經過によつて生ずる相場の差益を得るのである、例へば東京で高ければ大阪で買ひ東京で賣る反對に安い方で買ひつけた方より現株を賣つた方へ送る、例へば郵船株の直取引を東京へ今幾らだと電話で聞いて東京の答へが一百五十圓と云へば東京は大阪より一株に付き三圓高いから同じ電話で東京の市場に百株賣ると同時に東京より三圓安い大阪市場にて一百四十七圓で百株買ふ而して此代金一萬四千七百圓を大阪へ拂つて百株の現株を受取り直ぐに東京へ荷爲替を組む、すると即ち東京へは一株一百五十圓宛に百株賣つたのであるから此代金一萬五千圓が受取れる、此中から電話料と運賃と手數料とを拂つた殘りが純益となるのである、東京大阪間の至急電話料は一通話三圓宛である一日に五回通話しても拾五圓に過ぎぬ又料金を前……

會は此最も必要な市場內架設の一電話を使用し得る自由を有する……騰落の烈しい時は驚く程鞘が大きいから思はぬ巨利を博する事がある……

出資額五拾圓以上、期間十ケ月、端書申込あれば會則送る
大阪市北區堂島濱通り一丁目廿八番地
合資會社勸業債券信託社內
株式差金利得會
電話北一五九〇番
振替口座大阪四五六〇一番

生活難救濟法ノ大發見!!
小資本ニテ高尙ナル趣味ト實益ヲ兼ネタル國產的副業ハ鶉ノ飼養ニ限ル



京城府鋼水洞百十番地（大和町倉庫東）
鶉生うづら園
振替京城六四九〇番

撫順炭
山下製コークス
京城府黃金町通十三
特約販賣 實榮商會
電話一〇七番

時間表

[illegible]

七年七月一日改正現行

□還御の日近し
宮殿の御手入忙しく 侍從武官府も增築中

相州葉山に御駐輦中の聖上陛下には愈來る二十七八日頃を以て皇后陛下と御同列にて東京に還御遊ばさるべく其の御日取は未だ御治定の運びにはなつて居らぬが兩三日前石原次官と交代に

▽御用邸 に伺候した波多野宮相は鳳輦に供奉して歸京の筈で、御留守宮中御內儀を初め表御殿は內匠寮の職員監督の下に多數の職人が入込んでお襖の張替やら其他の修繕に忙はしく御內苑の立木などにもそれ〴〵御手入が施されて又表御殿の一部に在る侍從武官府は頗る

▽手狹な ので此程來增築工事中である、某宮內書記官は『聖上皇后兩陛下には至極御健勝に渡らせられ附近一國、神武寺や立石の御茶屋などへ行幸啓仰せ出されました、今年は御轉地當時は生憎と寒氣が嚴しく降雪さへ一兩度あつた爲に當分は全く御外出も御控へになつて居られました』（東京）

○留學生に惡感を起させぬ樣注意が肝要
青山學院生徒監 相田義武氏談

青山學院には目下各科部を通じて十五六名の留學生がゐるが是等留學生に對する待遇方法に就ては疾くより細密な注意を拂つてゐるのである即ち入學に際しても他の學校に於て入學せしめなかつた程の不具者をさへ快よく入學せしめ成績等に至つても良好ならざる者をも或る程度迄は卒業せしめ出來得る限り寬大なる處置をとつてゐる又學生相互間に於ても他國人視せしめず眞の同胞に對する如く言語不通に因つて生ずる意志の疎隔もありはせぬかとあらゆる方面に氣を配りつゝ極力是れが善導に腐心しつゝある幸ひにして今日迄は生徒間にも

▲何等の隔 てなく睦まじく親く交誼を結んでゐるのであつて是等に就ては何よりの事と大いに喜悅してゐる次第である概して各學校に於ては待遇上彼等留學生をして惡感を抱かしむべき樣な事は全然あり得べき事ではないが親日の傾向あるべき留學生が却つて其反對の態度に出るなど〳〵いふことに就ては何か深い〳〵原因がなくてはならない此の原因に就て予の考ふる處は即ち

▲一般國民 の彼等に對する待遇が其の主なるものではないかと思ふ例へば宿所に於て邦人學生と留學生と自ら待遇が異なり又商家に至つてさへ何となく蔑視せらるゝの感を抱くのみか小兒の如きに出會すれば嘲語を浴びせらるゝのである特に支那人留學生などは故國の錯亂せるを自覺してゐるだけ心に

▲猜疑を增 すのであつて假令ば道路を通行するに際しても予は支那人である日本人が予を指しつゝ嘲笑してゐるではないか誰か吾れを批難してゐるのではあるまいかと常に是等の事を氣にしてゐるのであらう是れは支那人及び他國の留學生のみならず誰しも馴れぬ旅路にては常に心に浮ぶ疑心であつて即ち是れは

▲人情の然 らしむる處であらう然らば猜疑心に深い支那人として特に是れに氣を煩はすのは決して無理からぬ事である斯る些細なる事よりしても人は動くものであつて是等は單なる例に過ぎないのであるが我が國民をして是れら學生には飽迄厚意を以て潤ふに努めなければなるまい日支親善を計る爲め假令政府に於て

▲百計萬策 を施すと雖も國民に於て若し是れに相反する言行があるとすれば決して其の效果を見る事は出來ないのである予は一般國民に對し彼等留學生に對する待遇方法の改善を切に希望して已まない次第である今回在京鮮人學生の不穩に就ては根底無く徒らに淺薄なる思慮から出でたる輕擧妄動であつて只彼等の無智を笑ふの外は無いと思ふ兎に角我が帝國將來に於ける德義の上よりしても東洋諸國民族の留學生に對する我が國民の態度は改善する餘地ありと思ふ（東京支局）

○戰利獨艇 日本へ向ふ
出雲に曳れて

日本巡洋艦出雲、驅逐艦柏は休戰條約に依り日本に割當られたる潜航艇二隻を曳航し日本に向けポーツマスを拔錨せり（倫敦電報）

○和田中尉の冒險飛行
我邦最初の試

デッケール少尉の冒險飛行が滿五日は廿一日春光朗かなる所澤飛行場にて行はれたり此朝和田中尉はソッピース機に搭乘九時五十五分場の北西に向け離陸忽ち一千米突の高空に達し數變の

△急旋回を行 ふと見る間に機翼は著しく右に傾斜し尾部一回轉を行ひ次いで急角度に螺旋降下をなし更に又橫轉二回宙返し一回を演じて十時無事着せるが代つてデ少尉はニユーポール式にウイネー少尉同乘千六百米の高空にて逆轉橫轉の妙技を示し十時半着陸せるが和田中尉此日の態度は連日來の

▽デ少尉の 神技に刺戟されたる結果にて日本飛行界の爲面目を一新せり尙同中尉は近く宙返り飛行をも練習すべく目下頻りに原理研究中なりと

小さき新星
◇兩親の溫情に背くのが辛い
高等女學校專攻科卒業の才媛 谷口辰子さん

南山町一丁目を登り詰めて左に突き當ると、『京城高等女學校生徒合宿所』がある、小さい門を潜つて谷口辰子さん（一九）をお訪ねしました。辰子さんはつい此程京城高等女學校を優等で卒業された才媛で、漆黑の髮と櫻色なす頰の顏が調和の好い、お美しさを思はせる、『まあ、私が秀才ですつて』と、瞬つた眼には希望の光が輝いて、流石に包み切れぬ

△喜の微笑を 見受けました。『妾の得意、それは何にも有りませんと申上た方が適切でしよう、然し、私は小さい時から綺繡が非常に好きでしたので女學校に居ります間も研究は怠りませんでした。這度、學校を出ましたら

△美術學校 に行けと云ふ先生のお勸めもありましたが、光州に居る兩親が私の歸りを一日千秋の想ひで待つて居るのです私はこの兩親の溫情に背き度くないのですもの』――と仰被つた眼には潤んで居ました。『辰子さんは斯うした美しい心を持つて在校する上に、非常な

△努力家で 先生、私は何學科も平均に出來る樣努めて居ます、と口癖の樣に云つて居られました丈けあつて、卒業の成績は何學科も殆んど平均に出來て居たそうです。又どんなに腹の立つ事があつても、決して惡い顏一つ見せた事のない懷しい味を持つたお方でした』と矢吹舍監のお話、辰子さんは一兩日中に

△想出深い この合宿所を去つて、當分大和町の片村お伯父さんの處で靜養した上、來月中旬頃懷しい御兩親の膝元にお歸りなさるとのこと（寫眞は辰子さん其筆蹟）

○『小さき吾等に善き事を』
可愛らしい幼稚園の卒業式

南山町の東子幼稚園では廿四日午前十時半から同園室內遊戯場で第十八回修了生五十八名の爲に修了免狀授與式を擧行したお母さんや姉さんに連れられた可愛い園兒が椅子へ腰して席につくとオルガンにつれて君ケ代の合唱、それが濟むと

◆師の恩の 歌『小さき吾等によき事を……』を歌つて夫れ〴〵免狀を戴いた次に大和田園長は『皆さんはこの幼稚園で永い間遊びながらお稽古をして居たのですが是れからは學校に行つて眞實のお稽古をしなければなりません學校に行く皆さんは溫順しくよく勉強をなさい』とて豐臣秀吉の

◆千成瓢箪 に就て面白いお話を試みたそれから殘る園兒は『今日は芽出度い免狀日、兄樣お姉樣お芽出度い、皆んなで一しよに祝ひましよう』と云ふ喜びの歌を歌ふと修了生は『先生有難う御座います、お免狀戴いて、是れよりは學びの山路の初登り』と云ふお禮の歌と『吾が子よかれと父母は

◆寢ても覺 めても祈るなり』の聞歌を歌つて十一時半式を終り先生から榮育の栞、お菓子を戴き修了園兒最後の手工である木造の汽車を戴いて先生左樣なら、左樣ならと歸つて行つたが杉本蔣夫さんと藤井とし子さんは三年半の永い間同園で世話になつた丈けお名殘りが惜いと云つて眼の縁を赤くして居た

○討論が洗錬された？
速記錄に現はれた今期議會
議案の件數は非常に多い

帝國議會も休日を除くと剩す所は僅か數日間に切迫した寺田衆議院書記官長は語る『回顧すると九十日間、今年の議會を議事の上から觀ると平穩であつたとは言へない豫算の討議を

◇大論戰 の序幕として外交論戰、土地問題法案、選擧權擴張案と小さくない問題が頻發した殊に選擧權擴張案は大問題であつた所で總豫算額は未だ計上はして見ないが十七八億圓の巨額に達する筈で昨年の十二億圓餘に比較すると約五割の膨脹である夫が唯

◇警告附 で無事通過したと云ふ事は珍らしい事實と云へる總體今年の議會は既に建議案が百九十三件、政府案が五十二件で請願の件數は二千に達して居る斯の如く多くの件數を處理して居るに拘らず速記錄の頁數は非常に少いやうだ、議場で處理した件數が多く議事の記錄である

◇速記錄 が膨張らない事實は議事が省略されたことを意味するものであるが議場の討論が洗練されたことになる、選擧權擴張案が無事に貴族院を通過すれば議員が現在より八十三名增加して四百六十四名になる譯である

○京城附近又騷ぐ
廿餘所に亘つて傷者を出す

二十三日夜京城を中心として左記各所に騷擾あり麻浦及び東大門附近に於て電車二十臺の窓硝子二百枚を破壞し或は各所に於て投石暴行を敢てせしものあり爲めに若干の負傷者を出せしものゝ如く首謀者と認むべき者を鍾路署に於て八十餘名本町署に於て十餘名、龍山分署に於て十餘名を檢擧せり

▲蓬萊町 九時頃より數百の群集運動を開始せるが十時頃に至り解散せり

▲訓鍊院 午後九時頃より同十時四十分迄約五百名の集團騷擾せり

▲阿峴里 公立普通學校に於て午後七時三十分萬歲を叫べり

▲東大門外 新設里安甚里附近に於て午後七時より十時に亘り約四百名の群集騷擾を起し電車の窓硝子等を破壞せり

▲東小門 午後九時二十分頃多數の群集萬歲を高唱せり

▲東大門內電車終點に於て約五百名の群集午後九時頃騷擾せり

▲孔德里東幕 面に於て午後九時頃數百名の群集運動を開始し十一時頃漸く解散せり

▲鷺梁津 約三百の集團は午後八時半より九時まで騷擾せり

▲永登浦 午後八時頃より數百名より成る數團は所々に篝火を焚き萬歲を高唱し官憲と見るや盛んに投石其他の暴行を加へたり

▲堂山里に於ても亦右同時刻に約四百名の集團萬歲を唱へたり

▲高陽郡纛島面に於ては數百名の集團九時より十一時に至るまで騷擾せり

▲麻浦 午後十時頃五十名の集團萬歲を唱へ二村洞に於ても亦數百名集合せり

▲孝昌園 十時卅分頃數百名の集團運動を試みたり

▲水色驛 午後十一時五十分約二百名の集團萬歲を唱へ騷擾せり

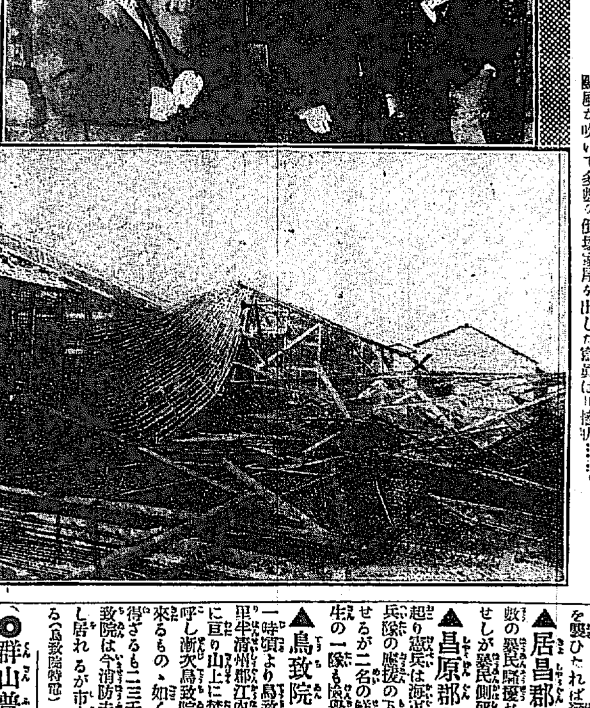
▲往十里 前同時刻百五十名の集團喧騷せり

▲光熙門外 百五十名の群集電車を襲ひ投石する等の暴行を爲せり

▲永登浦 午後八時卅分約三百の群集運動を開始し同十時解散せり

▲金浦郡陽村面陽谷里に於ては午前十時頃約一萬の集團駐在所を包圍暴行を働けり

寫眞通信



（上）德川貴族院議長は恒例により十九日貴族院議員を招待して午餐會を開いた椅より石黑忠悳男、平山成信男、德川議長（下）東京は十九日夜大颶風が吹いて多數の倒壞家屋を出した寫眞は其慘狀……。

○各地の騷擾

▲務安舊邑（全南） 廿日暴民約百五十名集團運動を開始せしに依り首謀者を逮捕せり

▲木浦（同） 廿日多數の集團運動を開始せしも木浦署長及郡守の懇諭に依りて解散せり

▲盈德郡蒼水（慶北） 十九日暴民約二百憲兵駐在所を襲ひ器具を破壞して解散せり

▲咸安郡郡北（慶南） 廿日多數の群集憲兵駐在所及郵便局を襲擊せしに依り止むなく發砲したるが巡查一名兵卒三名負傷し暴民側に若干死傷を出せし見込なり

▲利原郡（咸南） 廿日天道教徒に使嗾せられたる多數の暴民は憲兵駐在所を襲ひたるより止むなく發砲し暴民側死者一を出せり

▲安東郡輓巷（慶北） 廿一日暴民約五百名警官駐在所を襲ひ硝子窓を破壞せり又同郡新德に於ても同日約百名の集團騷擾せしを以て發砲したり

▲晋州（慶南） 廿一日多數の群集騷擾せしを以て首謀者二名を逮捕せり

▲陝川郡草谿（同） 廿一日多數の暴民警官駐在所及び郵便所を襲ひ窓硝子を破壞せしにより解散せしめたるが巡查一名輕傷を負ひ暴民側に死傷若干名を出せり

▲馬山（同） 廿一日耶蘇教徒を中心とする多數の市中を練り歩きたるより首謀者を檢束したり

▲漣川郡百鶴面（京畿） 廿二日多數の暴民面事務所を襲ひ建物に損害を與へ憲兵一名負傷したり

▲金浦郡郡下里（同） 二十二日約四百名の群集騷擾し首謀者は逮捕されたり

▲濟州島（全南） 二十一日及び二十二日約二百名の群集騷擾せしが首謀者逮捕されたり

▲安東郡泉旨（慶北） 二十二日約二百名の暴民警官駐在所を襲ひたれば發砲解散せしめたり

▲居昌郡（慶南） 二十二日多數の暴民騷擾せしを以て發砲鎭壓せしが暴民側死傷各一名を出せり

▲昌原郡（慶南） 廿三日暴動起り憲兵は海軍水雷艇隊馬山重砲兵隊の應援の下に五十餘名を檢擧せるが二名の鮮人重傷者あり尙彼等の一隊も檢擧されたり（馬山特電）

▲鳥致院（忠南） 廿三日夜十一時頃より鳥致院を距る東南約一里半淸州郡江內面一圓約二里の間に亘り山上に焚火を爲し萬歲を連呼し漸次鳥致院に向つて押し寄せ來るもの、如く其數は確に知るを得ざるも二三千もある模樣なり鳥致院は今消防夫を集め萬一を警戒し居れるが市中不安の念に充さる（鳥致院特電）

○我婦人を殺害し
其の屍體を凌辱す
西伯利過激派の暴狀

西伯利に於て常に安寧秩序を紊し暴狀を逞しうせる過激派討伐に際し往々同地在住普通露民の戈を採りて彼等と共に我軍に反抗せるものあるに對し種々の中傷說を流布し我軍の名譽を

▽故意に傷け んとするが如き形跡あるも是皆某々國或は是等不良過激派の虛僞狡猾なる使嗾の結果止むを得ず起ちたる露農民の一部にして彼等の通過せざる村落には一も我軍に抗する者なきを見ても彼等一般農民が日本軍に對し何等反感を抱くものにあらざるとを察知し得べく又過激派の通過せる村落には能く

▽青年の死體 を發見することも尠からず蓋し彼等は正義の爲過激派の意志に反し其命令に服せざりし結果遂に其不幸を見るに至れるなり過激派の如き固より正義人道の何たるを解せず其不法行爲の如き枚擧に遑なしと雖も其二三を列擧せば二月廿六日セシアリヤンカに於て

▽郵便局員を 押へ官金其他を掠奪せりレヂヤナヤに於て罪なき日本婦人を殺害し其死體に侮辱を加へたり二月廿七日アー市周圍村落の壯丁を威嚇し或は之を拉し去り目下殆んど壯丁の跡を絕てり三月十三日エカテリースラフカ驛の倉庫を掠奪し附近に放火す（某將校談）

○群山普通校全燒す
損害約一萬圓 放火の疑あり

廿三日午後十一時群山公立普通學校便所より發火し同校建物百廿九坪を烏有に歸し零時半鎭火せるが損害九千四百圓なり發火原因は不逞鮮人の放火なる可しと（群山電報）

非常持出袋（說明書進呈）
吉井袋物部
大阪市北濱四 電本局六四九

○遊廓で血の雨

廿三日夜七時大連逢阪町戀聯樓にて鳥取縣生れの中村梅太郎外數名の博徒等賭錢の事より血の雨を降らし木谷、高橋の兩名は數箇所に負傷せり（大連特電）

□卒業生
東洋協會專門學校

伊勢戶榮　淺野精治　小山新一
高橋由郎　木多英吉　後藤純一
中司正遊　寺山滿　伊藤道一
堺潮兵衞　新海通　小山龍次
杉原省三　清水雄三郎　原田應毅
石井雙三

（上）伊勢戶榮（下）木多英吉
東洋協會優等卒業生

○旭映會の盛況 京城筑前琵琶界の重鎭本田旭映女史は過般宗家より法昌山の稱號を得て節斷し廿三日夕刻より武德館に於て春季演奏會を開催せしが聽衆場に充ち頗る盛會を極め女史の五絃獻の浦は殊に滿場の聽衆を醉はしめたり

□給仕採用 本社編輯局給仕若干名採用す希望者は履歷書携帶本人來社のこと

參加の選擇

○米軍が過激派討伐に

……を維持し露國の穩健分子を援助する目的を以て既に沿海州に駐屯しある米軍は我軍が多大の犧牲を忍びて露國民の爲に盡しゐるに……

無い併し過激派が善良なる人民を殺傷掠奪するが如き

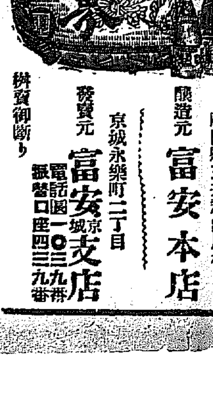
◆或は鐵道 に妨害を加

云ふ事である……に出るのであると公稱してゐると

○古給上陸客 廿一日午前入港……

天氣 小雨後曇

優等淸酒



醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話……
杯賣御斷り

皮より強い
柳製專賣トランク
鞄製造販賣
御注文により如何樣にも調製可仕候
魔法瓶及中瓶取替
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話二五四番

最後にお試しあれ
もし貴下の梅毒がこれ迄の藥で思はしくなかつたら最後に
カトウの百毒下し
服用あれ……
近く藥店で御求めの上
伊勢四日市 赤堀
水橋加藤松壽堂

緊急廣告
弊店儀從來各種染料販賣致し居候處今般染料界の覇王たる資本金壹百萬圓を有する帝國染料會社と契約の許に帝國ブラックを朝鮮一手販賣を特約致し候間何卒多少に不拘御用命仰せ付被下度尙御使用法不明の御方には御一報次第直に御速答可仕且つ御希望に依りては技術員派遣仕實地御指導可致此段謹告候也
◎特約御希望の御方は御一報次第御回答申可上候
各種染料 萬染物 太綠製造 疊
釜山本町五丁目 千葉商店
支店 舊馬山午東里
出張所 京城南大門通

婦人日常の手引
家庭顧問
四月號（一部十五錢 郵税一錢）來
化粧の研究
定價 一年一圓八十錢
化粧調査會

本場大島紬月賦販賣
電話又は葉書にて御用命被下候へば店員參上御相談可申上候
但し京龍仁御在住の御方に限る
本場大島紬 鹿兒島縣大島郡名瀬港 織元 勝久商店
京城本町一ノ五〇黑川肉店南へ入る
勝久支店
電話一九〇二番

◎内外蒙古を踏破した 耐寒旅行隊の實見談(二)

◈興安嶺 一行は二月十七日興安嶺麓シャカントウハイ村落を出發して同月二十八日下山し了りたるが嶺は白樺白楊樹柳落葉松密生し一抱へもあらん大木蹯こして屹立し居るを見るも初めに豫期せし程の巨大なる大樹はなかりき樹木は峠に上るに從ひ粗こなり蒙少の雜木こ變ず而して興安嶺南は斯の如き樹木繁茂するも嶺北は亂伐の弊を蒙り密林を見受けざりしこ云ふ

◈獲物 興安嶺を踏破するや狐兎先を爭うて遁出するや一行はよい獲物御座れご射擊を試みしも何れも單發銃にして且つ平素射擊に熟練せざる爲めあつたら好き獲物を見のがすのみ士龍一疋射留むる能はざるに支那人や蒙古人は粗製なる怪しき單發銃に物の見事に百發百中パッタ〳〵こ射斃し得意滿面我等の腕を叩いて斯の如く見事なる銃器も腕が惡くては物の用ひ立ち難し我等は腕に覺ゑあれば斯の粗末なる銃器で御覽の通りこ鼻高くして戯れるには平素負けず嫌ひの邦人連も何等忘まくしいこ腕をさすりて慣慨するも及ばざりき

◈温泉 如何に蒙古にてらかいこ云ふ温泉だけは矢張り暖かい一行は覺ず入浴慾を起し此の鑛泉に飛込んだれたるが其湯加減のよき事又無上なりしが首より上は忽ち凍結氷の兒を冠りたるが如し蒙人はこんな迷信を有して居る温泉の中で熱いご云ふ言を發してはならぬ若し熱いこ云へば温泉の靈が怒つて益々熱い湯を出すこ是れは餘り稚氣を帶びて可笑な話だが熱いこ云つて温泉の湯を動かし搔き廻せば地中深り湧き出す熱湯を誘出する物だからである

◈危險 興安嶺を下つて三日ハルハ川に沿うて北進し寒氣に迫られ疲勞に惱みし一行も今日は何處にて宿らんかこ例の如く森田隊長は通譯を從へ一行の行進を停止して約半里許り前進して適當なるテント地を撰定すべく疲れたる足を膝を沒する積雪に踏ためく〳〵進んだ日中こ雖も零下四十幾度到底面をむくべくもなし防寒衣に身を包み顏は只目ばかり出して居るこ云ふ狀態である思へば今日は三月三日で桃の節句で家庭では雛祭りで白酒の御馳走やなんかで大騷ぎをするのであるが身は特別の任務の爲めに遠き蒙古の曠原を漂ひ居るなぞ思ひ浮かんで潸潸の情に堪へざる折柄

◈不意 に躍起する伏兵は白雪を蹴つて背後より棍棒を振つて頭臚を毆打して一行の人々を人事不省に陷らしむ嗚呼何たる慘狀ぞ備れ一行は惡行者のために蒙古曠原の露こ化せんか…森田隊長等の報を得つゝ待ち居たる後續隊は今や今やこ待ち居たるに豈計らんや武裝せる蒙古人五騎雪蹴つて迫り銃を擬して附從して來れこ命ず相憎通譯は不在の爲め馬夫等が頻りに辯解するも了解せず若し拒絕せば發砲すまじき形勢なるを以て一行も抵抗する事の不利なるを覺り彼等が爲すが儘に任すにありこて隨行して森田隊長の捕へられたる地に到る此の間に於ける一行の胸中は如何今更繰返す迄もなく只悲慘こ謂ふより外なかるべし

◈旅券 是より先數日前五名の支那馬賊がトムロネーラの部落に來り放牧せる馬匹を奪ひ去らんこせし爲部落の人々こ馬賊この間に爭鬪起り終に二名の馬賊射擊され三名は身を以て逃れたり必ず近く復讐戰こして多數襲來すべしこて同部落の人々は五十餘名武裝して日夜警戒せる時恰中に一行は飛び込んだる事こて忽ち馬賊こ誤解されたる有樣なるが一行が如何に我れ〳〵は日本人にして

◈馬賊 の徒にあらずこ云ふも要領を得ず由つて北京政府より附されし旅行券を示すも目に一丁字なき彼等は是に一顧をも與へざりしか只中央に大なる印章の捺しあるを見て兎に角部落に漢字を解する先生ある故見て貰ふ可しこて先生の鑑定を乞ひ茲に始めて日本人の旅行者たると判明し忽ち

◈勞 はり放逸したり一行は蘇生の思ひして負傷者を勞はり此後の旅行につき協議を試み遂に治拉補に出づる事こせるは損失の點馬匹の補充大馬車の破損等種々なる原因に由つて餘儀なくせられたるものにして實に同情すべきものあり(未完)

◎擴張改修工事こ 滿鐵會社財源 運賃の改正と炭價五割上

滿鐵にては車輛機條の改善並に複線工事等に對し極力其の工程を進むるこ共にそれに伴なふ財源を運賃改正及び炭價値上に求めんこ計畫しつゝある由にて來る十月頃よりこれが實施の方針なりこ而して滿鐵の炭價値上は愈決定せられ近々社報を以て發表さるべく値上率は平均五割こ三分に決せしもの如く値上理由に就ては詳細にこれが說明をなすべしこ(大連)

◎十五年計劃 大田の桑園計劃

大田郡に於て大正三年度より向ふ十五箇年間の計畫を以て實施しつゝある桑園の大正八年度植付豫想は反別三十二町歩苗木二十萬本にして計畫當時の豫想に比すれば二箇年餘の進捗を見たる由なり之れ畢竟一昨年來生絲の賣れ行き良好なりしより將來蠶業の益々有望にして多額の收益を得るに困難なる事業にあらざることを語りたるに因るものなるべしこ

◎巡回して告諭 參與官の出張

平安南道參與官李範來氏は市澤道書記を隨へ十九日より道內各地に出張し今回の騷擾事件に關する民心慰撫の目的を以て巡說することゝなりたるが其日程左の如し(平壤)
十九日(平壤)二十日(鎭南浦)廿一日(龍岡)廿二日(江西)廿四日(中和)廿六日(安州)廿七日(永柔)廿八日(順安)

◎陸地棉(大田)

大田郡に於ける本年度の陸地棉栽培反別は六百町歩にして總收穫三十六萬斤一反歩當り平均六十斤の割合なりしこ云ふ斯の如く不成績の收穫を見たるは由來鮮人は何れの耕作物中にも其間作を爲す習慣あるより之れ等が原因したるもの如しこ而して大正八年度に於ける栽培反別豫想は本年度より三百町歩を增し九百町歩の豫定にて郡廳に於ては目下之れが準備中なりこ

◎貿易(群山)

群山港二月中輸移出入貿易狀況を聞くに輸移出品の重なるは米穀四萬千六百八十八石價額百六十萬六千八十三圓繰綿八萬斤價額六萬圓等にして其他輸移出總價額百六十七萬三千九百七十圓なりし輸移入品の重なるは小麥粉六萬七千五百九十正斤價額九千百二十三圓食鹽五百二十五萬三千三百斤價額三萬六千七百七十二圓鹽魚十一萬三千七百四十七斤價額八千二百七十三圓砂糖十七萬零八百九十七斤價額二萬二千五百五十四圓十一生金巾及シーチング六十三萬五千零二十二碼價額二十萬九千七百七十三圓日本木綿一萬七千二百二十二反價額二萬七千百七十七圓熟鐵一萬八千九百三十六斤價額四千五百零八圓敷鐵府城五萬四千三百七十五斤價額八千三百七十四圓諸器械類價額七千八百十八圓農具價額七千五百三十一圓燐寸一萬二千三百九十三哥價額九千七百六十二圓等にして輸移入總價額四十一萬零三百七十三圓なるが輸移出入總價額は物價昂騰の爲め昨年同月に比し著しき增加を見たるが就中米穀の如きは二月下旬相場變動の爲め昨年同月に比し數量六千零二十三石を減じ居れるに反し價額は六十一萬五千百十圓の增加を示したり

◎伊藤々部省參事官(大連) 二十日旅順に都督府を訪問、廿一日營島に向ひそれより天津、北京を視察し、引返して奉天、長春、哈爾賓を視察途朝鮮を視察すべしと

地方事情

山清 慶尙南道

◆特産物 山清郡は東西十里、南北十里に亘り周圍峻險なる山嶺を以て包繞する大郡である郡內の特產物こしては、慶南の需要の過半を供給する薪炭である昨年度產額八萬五千貫以上に達し價格は上品にて一貫目十錢見當にて河東、泗川、晉州方面に移出せられ本年度よりは一層大擴張さるゝ豫定なるを以て產額は激增すべき見込にて昨年の如き品拂底の結果自不然なる價格を顯出するが如き事はなかるべし

◆建築用材 無盡藏の智異山森林より伐採する建築用材木は多く

◆夏季の出水を利用し役にて晉州方面に搬出せらるゝ其數は驚くべき價格にて優に十萬圓以上に達する見込なり

◆山清紙 陜川に次ぐ朝鮮紙の產地にて目下楮植付反別は七十六餘町歩製紙戶數二百〇一戶にて製產額三萬餘圓に達する現況なるが近く教師着任する豫定なるを以て製紙組合を組織するこ共に極力品質の改良こ統一し以て山清紙の聲價の向上を計らんこ欲す以上山清郡當局の談(晉州)

申込殺到=締切日近し

德壽宮國葬畫帖

豫約部數 二千部限

此の好期を逸する勿れ、此の好記念物を忘るゝ勿れ、締切期日切迫す、躊躇せば最早手に入らざるべし。官衙、會社其他の團體より申込續々。地方の諸君！諸君は朝鮮空前の國葬儀を見たりや。歷史家よ、諸君は此の德壽宮畫錄を以て花の如き文字なりとせずや。

定價 特製一冊 金參圓五拾錢 上製 同 金參圓(特製唐本仕立朝裝紙箱入片面摺)
豫約價 特製一冊 金三圓 上製 同 金貳圓五拾錢(上製唐本仕立朝裝紙箱入兩面摺)
豫約方法 極上等アイボリー紙五十枚以上 上製は其半數 寫眞銅版寫眞百個以上 申込期日大正八年三月卅一日限り期日經過後は原價に復し販賣するも餘分は僅少に付成るべく豫約せらるゝことを望む豫約部數二千部 申込の際前掛金として特製は金參圓上製は金貳圓五拾錢御送附を乞ふ
發送方法 製本は三月末日以後、申込順序に據り引換小包郵便にて發送す 京城市內は無送料朝鮮は特製上製共一冊十八錢こし購買者の負擔こす

發行所 京城日報社

◎國境貿易(安東縣)

去る二月に於ける新義州及び龍岩浦の輸移出入貿易に就て新義州稅關支署の報告を見るに同月の輸移出價格四十一萬二十圓輸移入價格は七十三萬一千六百四十一圓合計百十四萬一千六百六十一圓にして本年の累計は輸移出入合計二百五十八萬三千二百十八圓前年同期間に比し百十九萬九千八百九十八圓の激增なり去る二月中の重要なる輸移出入品左の如し

輸移出(圓)
(米)五、九二六 (魚類)三〇、四〇四 (鐵砂)一、四七四 (牛皮)二五、二九〇 (煙草)一、六〇六 (肥料)一、一九一 (其他)三一〇、五三三

輸移入
(粟)三四九、六九八 (小麥粉)七、四七三 (砂糖)三、五三七 (石油)二、八二四 (綿布及打綿)四、九一九 (綿織糸)四、八〇〇 (生金巾生シーチング)一、三七七 (支那麻)二、〇〇五 (絹織物)一、六八四 (紙類)三、三八 (鐵)八、五二六 (諸機械類)二、八二三 (石炭)二、二三一 (木材及板)二五、五〇五 (小包郵便)四一、〇六〇 (其他)二三四、五一八

◎遊興稅 ◇大連に於ける一年の◇ 遊興費四百萬圓

大連市遊興稅賦課に就いては豫て都督府民政部にて審議しつゝあつたが大連市財政の現狀に鑑み課稅の妥當を認むるも稅率稍高きに失するなきや再考を要する旨の復牒に接したので中野民政署長は關係者の結果各

◆一分減に確定の上 十九日附を以て正式に認可の指令を與へたのである依つて豫算の更正を要すべく中野署長は石本市長高濱助役こ會談し向不足額の戶別割賦課等の件も

◆決定を見て茲に 大連市八年度豫算は市規則の定むる處に據つて民政署長の決裁を經て豫定成立したのである右に就て大連市の遊興稅問題も中々物議を惹起したが結局課稅することに決したから昨年中の

大連市內花柳界の上

り高を擧示するも亦一興だらう

市內料理店	六〇三、四二〇
藝妓	八二〇、九〇一
貸席	七三八、三一六
松公園	一六三、四一八
逢坂町遊廓	一、三〇七、二七四
小園子	四一六、〇四八
其他各廓	四、二七六、八三九

其他沙河口、老虎灘、柳樹屯等を合せて總計四百廿七萬六千八百卅八圓餘に達して居るさうだ(大連)

◎大祭協議會(木浦)

木浦松島神社創立十年記念大祭鮮人側委員會は二十日午後五時木浦ホテルにて開會病氣旅行不在の外全部出席記念事項に對し逐條審議し最も熟心に各項の詳細を得て之に賛成し實行當議員こして崇敬者總代の玄基奉氏の外金商燮、文在喆、李鮮玉、車成述、林俊洪、李善弘の六氏を選擧せりこ

◎造林(大田)

大正六年度より向ふ十箇年間の計畫を以て設計したる大田郡に於ける造林計畫に對する大正八年度の總面積は七百町歩にして之に要する苗木は二百四十萬本其種類は赤松黑松、栗等が其大部分を占め居れりこ而して此の造林計畫は十箇年の繼續事業なるにも拘らず成績非常に良好にして其の事業は僅に三箇年に及びたるのみにして設計の約過半の成功をなしたりこ云ふ

◎櫻は何日頃

◇朝鮮は一と月後れ◇朝鮮にて櫻の花の開くは內地より一と月後れにて又櫻こそ無けれ滿洲の春の陽氣は其又一と月後れなればこゝに便利なる鐵道を利用し◇今日は東京の花を◇觀て翌日は嵐山其翌日は芳野山翌々日は櫻の宮こ名所に順つて內地の櫻花を見歩き內地の春も見飽きたる頃下關に於て長府功山寺の◇由更ある櫻を名殘◇に釜山に着すれば未だ大正公園の櫻は四月の中下旬ならでは綻びざるべく滿洲の春は更に又一月後れなるが今東京の櫻の開花季を◇中央氣象臺の調査◇によれば例年櫻の咲くは平均四月二日頃に咲き初め五日を經て開滿こなる由にて大正二年以降每年の開花季及び滿開期は左の如くなり

(年次)	(開花)	(滿開)
大正二年	四月二日	……
大正三年	三月廿五日	四月二日
大正四年	四月五日	四月十日
大正五年	四月八日	四月十三日
大正六年	四月三日	四月八日
大正七年	四月二日	四月八日

◎義金を募る 平南沙川外各地に於ける暴動の際職に殉ぜし憲兵警官等の爲め

平南に於ける今回の騷動事件の爲め其犧牲こなり悲慘の最後を遂げ又は重傷を負ひたる左記憲兵、警察官其他に對し工藤平南道長官、松寺檢事長、井戶川旅團長、關口檢事正、小河經務部長の五氏發起人こなり廣く各地の同情者より義捐金を募集することゝなりたるがその趣意書左の如し

『頃者各地に於ける不穩事件は一部不逞鮮人の言動に基因するに過ぎざるも其民心を蠱惑し延いて國內秩序を紊亂したるこ甚だしきものあるは遺憾に堪へざる所なり殊に平安南道管內の如きは之が爲に幾多の慘事を惹起したることは新聞紙の報道等に依り旣に各位の了知せらるゝところたりしが多數群衆が其の勢を恃みて暴行を敢てするに當り勇敢奮鬪して防止に努め、遂に兇徒の毒手に殪れ又は創傷を被るに至りし者にして其の職務に殉したるの忠誠は上下官民の齊しく感激措かざるところなり、而して死者の遺族中には近く夫に見ゆるの樂みを夢想しつゝ渡鮮の準備中突如たる、この變報に遭遇したる悲慘可憐の家族あり或は後繼者を失ひて一家の將來を悲觀し切に人世の無常を歎ずるの老父母あり或は幼稚の手範を取り雲霞の如き暴徒に向ひて飽くまで防衞を試み夫君及び其の部下全員が壯烈の最後を遂げたる危急の場合に處して尙ほ克く武器を敵手に委せざるの措置を完うし纔に虎口を脫したる沈勇稱すべきの未亡人あり此等遺族の哀傷こ殉難諸氏の慣恨こに想到し更に又傷者の脅族近親等が愛惜の裡に護せるの狀況を推察するに及びて悲痛胸に迫り斷腸の念轉た禁ずる能はざるものあり依て不肖等相謀りて汎く大方の同情に愬へ義金を得て之を遺族及び傷者に贈り一は以て死者の靈魂を慰め一は以て尙中に在る傷者の苦患を慰むる所あらんこす希くば有志各位微衷の存する所を諒こし奮つて應分の醵出あらんことを切望の至りに堪へず』

右義捐金募集要項は左の如し
◆金額 五十錢、一圓、二圓こするも此れ以上は應募者の厚志に任す
◆期限 大正八年四月末日
◆送先 平壤憲兵隊內齋藤組述
◆分配 發起人に一任す
氏宛のこと
死傷者氏名左の如し(平壤)

死者

成川分隊長(中尉) 政池登造
沙川駐在所 上等兵 佐藤實五郎
孟川駐在所(同上) 佐藤 研
沙川駐在所 補助員 金聖奎
沙川駐在所(同上) 姜炳一
沙川駐在所(同上) 朴尭燮

負傷者

寧遠分隊(軍曹) 中西彌三郎
孟山分遣所 補助員 朴仁善
中和警察署巡査部長 田村三郎
陽德金融組合(理事) 重松髜修

商況

東京現米中値

	二十一日中値	
東拓新	七七、〇〇	
同新	……	
鮮銀行	一七七、〇〇	
同新	……	
南滿鐵道	一五〇、〇〇	
同新	一二五、五〇	
東一新	七五、〇〇	
東二新	一四九、〇〇	
京城電氣	[illegible]	
同新	一八、五〇	
南滿製糖	一四一、〇〇	
朝鮮瓦斯	九五、五〇	
商船	一九二、五〇	
同新	九〇、〇〇	
郵船	一二六、五〇	
同新	一四五、五〇	
鐘紡	一〇二、五〇	
同新	一〇四、五〇	
東株	……	
同新	一〇七、五〇	
朝鮮興業	四九、〇〇	
寶田石油	九三、〇〇	
同新	[illegible]	
橫濱取引	[illegible]	

東京株式特電

	日後場引値	日前場
東株新	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
商船新	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
郵船新	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
東汽新	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
富士紡	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
東紡	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
寶田石油	[illegible]	……
同新	[illegible]	……
橫濱取引	[illegible]	……
新潟製糖	[illegible]	……
北海炭坑	[illegible]	……
商銀新	[illegible]	……
第一新	[illegible]	……
第二新	[illegible]	……
東拓新	[illegible]	……
同新	[illegible]	……

東京期米特電

當限寄付 [illegible]十二圓五十錢
中限寄付 二十八圓八十一錢

廿一日後場	
寄付	二九、四九
高値	二八、八〇
安値	二八、八〇
止め	……

二十四日前場 二八、一九

大阪株式特電

	二十一日後場	日前場
宇治川水	……	……
京阪電鐵	二〇〇、〇〇	一九九、五〇
東紡	……	……
同新	[illegible]	[illegible]
合同紡	[illegible]	[illegible]
同新	二四九、五〇	[illegible]
東洋製糖	……	……
同新	……	……
商船	一二三、七〇	[illegible]
同新	一九六、七〇	[illegible]
郵船	一八四、二〇	[illegible]
同新	九九、五〇	[illegible]
堂島米穀	……	……
同新	二九九、五〇	[illegible]
東京株式	……	……
同新	……	……
大阪株式	三四四、四〇	[illegible]
同新	一九四、五〇	[illegible]
日糖	……	……
帝織	……	……

大阪三品特電

二十一日前場	
二月限	……
三月限	……
四月限	……
五月限	……
六月限	……
七月限	三一、九〇

大阪期米特電

二十四日前場 當限寄付 三十圓三錢 中限寄付 三十四圓四十一錢

二十一日後場	
寄付	三〇、六一
高値	三〇、六九
安値	三〇、三七
止め	三〇、三七

廿四日前場 三〇、四一

神戸期米特電

	二十日後場	廿一日前場
寄付	三〇、二二	三一、四三
引	三〇、四〇	三一、四三

下關期米特電

	二十一日前場 晴	
安値	三〇、二二	三〇、六八
止め	三一、四〇	

時候模樣關係に警戒眼先底入れ 當限 中限 先限 [illegible]

雜報

◎正米は强含み 頃日來一轉小締まり模樣こなりし地場正米は其後兎角賣澁り勝ちなる爲め人氣更に强調を帶び來り旁一部手合ひは在來穗上物にて三十一圓五六十錢に出來したるが何分買人の多く見込まるゝ丈け ◎人氣は伸惱み の狀にて一般に祭日前に比すれば二十錢は高からん成行きなり

◎夏帽子强硬 帽子は需要期の迫れると原料及工賃が依然昂騰步調にある爲め昨年の今頃に比し三四割方引締まりパナマ帽子は四五割乃至六割示し麥稈帽子は潮次需要器減少して賣行不振の姿ありと雖も生產高の點め是亦二三割方高騰せり次に鳥打帽子も原料織物高の影響を受けて ◎二割方上向き居れり

◎麥粉は軟勢 地麥粉は軟弱裡にも當滿洲粉の四圓八九十錢を下さるが米價落の影響を受けて市況極度に惡化せる內地麥粉は遂に四圓臺を割りて三月限三圓六十錢見當なる安值を唱ふに至りしが折柄滿粉相場が海外の需要喚起に依り品騰せる爭ひ幾分輸入して昂材料を與へたれば市況小戾の氣味こなり三月限三圓六十五錢唱への五錢方引締りを示せるが是は一時的の人氣作用に依るものにして市場在荷の消化見込立たざる限り當分は市況の挽回困難なるべしの觀測なれば如何に當時の約定品を控へ居れる當業地こしても早晩一崩れは免かれ難かるべし

◎支那粟落付 支那粟は漸く投げ物らしきもの出止まり且つ正米の小返しを受けて氣配落付模樣となれり商內は小口筋の必需買のみにて纏まりたる手合せ行はれず ◎市況閑散の裡に相場は海城物の十四圓五十錢を持合ひ居くなり

◎雜鑛稍引戾 當地 雜鑛類は前報の如く錫の外左たる變動なしと雖も內地最近の狀況に●亞鉛は輸出需要の呼出によれば再成立とに關西市場の人氣意外に緊張し遂れて當地も二十圓を下らざる成行にて獨上進を示すべき形勢●錫は商談引き閑散にして新規拂物は產地高と在荷の尠きに手堅く據置百五十五圓見當唱へなるが●鉛は堅調西筋氣勢變化なり鉛は先本國入荷赤高きを限じて保準相場は米國物十五圓見當と五十錢方反撥●アンチモニーは益々鈍狀に傾き取引皆無の姿なれば先行更に軟化を免れざらん形勢なれば眼先多少の影響あらん

◎分蜜糖不振 當地 日來一弛一張の內地分蜜先物市況は前日前に比し二十錢方の九十二錢一本値にて約一萬俵の取引を見たるが各大手筋は今尙依然警戒を要すべく各市場は尙ほ氣迷ひ氣味にて目先或は軟化せむやに思惟さるゝも一面印度及爪哇糖の品薄と原料高の折柄なれば精糖は低落を停止して當分保合を續くるならんと觀測するもの多し

◎精糖は米價の低落と運送の尠きに當地方需要なきより直に反響し一般不景氣にて軟化氣味となり ◎赤糖は精糖なり夫より贅澤好況の爲にあらざるも少しつかりの成行を示せり

◎石油持合ひ 當地 石油は追て不需要期に入るを以て商狀不味の傾きありと雖も英米兩油共に高賣出し制限の手を緩めず各地共に品廻り宜しからざるを以て市場相場の下押しを見ず松商十四圓旗商十三圓見當を支持しつゝあり其他撚絲油及機械油等に於ても概して荷廻り薄を唱へられ價格も依然持合圍を脫するに至らず

◎綿布は沈靜 綿布は騷動餘波を受けて今尙取引常態に回復せず今に於ては地方小口の注文と雖商筋の留取あるに止まりて荷動き益々閑散に陷りつゝあり此際仲間取引として沈滯を破らんとせしも一般見送りの姿なれば市況の回復を期せ其後相場は格別變らず三二一罫の ◎三百六十八圓乃至七十圓唱へに 細布は總需金市に手堅く持合ひ居れり新規入荷は鼎々ながら順次輸送されつゝあるも京仁間の運輸不圓滑の爲め當地への回送遲々として現在の市中在荷は ◎左程停滯なし

◎白米不締まる 白米は原料安と精米所の手持米處分の關係等にて大勢軟換以來連日低落を續け市中卸値は遂に三十六圓を普通相場とせられ尙之以下の例外賣もあり！模樣にて本年の高値四十四圓當時に比して ◎八圓方の低落 を唱へられしが祭日前に比し ◎一二三十錢方引返し たり尙原料正米の高報を受けたる各精米所並に仲買に於ても人氣は追々強含み來れるもの如く今朝は最高三十六圓五十錢最底三十六圓二十錢の見當なり

下關相場

◎朝鮮米 保合 白米四百臥み市況は週期的に過ぎざりしが產地は頃來期米の手堅きに連れ其後抵抗品需販から恐らくは本朝前場に依れば三十錢を僅へたるが何分先安の念去り離き折柄とて商狀を進むるのなきにより不相場口の商內なく當用向の必需行なりし大豆(安保合) 昨今入津減切り稀薄を唱し元山物五百臥當川が現に產地の高報に別段手持の成行き貿物なき現情也 何れも小口の賣行にして別項の如く出來せり ●小豆(落付) 安東花二百七臥の入津ありしが滿洲產も時節柄落附き模樣にあり共後相場は大したる低落を傳へざるも中には大塊口の買人あれば不安の際さて成行に賣放つものありて安東花百五十臥は二十一圓度に其他當用口は別項の如く北海產地も稍々引締りを告げなるも眼先きは小肥料の成行 魚肥は在荷も尙次減退を告げつゝあるも眼先き新物漁季にあるを大豆粕の狀弱から ずして鯟粕四五十本は中品十四圓四十錢同上品十四圓六十錢へも買人見送り賣行き思はしからず▲大豆粕は既報の如くに產地高報を傳へ居るも買人見送り商況出來たしり▲大豆粕の手合せなり▲鰊は久々朝鮮物一千臥の廻着ありしが買氣頗る淡く小口手の賣行にして朝鮮物二十五圓出來勝前内なり品十圓で既に賣値は...あるも買氣

朝鮮白米	廿八圓五十錢
同	廿八圓
同	四十圓
元山大豆並上	十九圓九十錢
同	廿一圓
同大玉上品	廿二圓
同	廿二圓十錢
新義州大豆	十九圓八十錢
滿州薄青大豆	廿一圓
同	廿一圓十八錢
同 長大豆	十八圓二十錢

仁川期米

二十四日前場 (休會續行) 今朝天候曇天東京二十八圓十九錢こ安值を移し立會休止ながらも人氣は不 ◎マバラの援 勢を唱へ ◎解合値段も混沌 さと思はれる

▲當を唱へ向も有りしが期の如き高値は寶方賑ざる向なるも硬軟共に奈何ともする能はず只保結さーて每日市場に現れ値段のみ待ち居るか如し大坂寄は ◎三十一圓見らず 定 ◎三十一圓三十一錢の噂 にて各地の期米丈も移したるが大阪は西山筋の探算買猛烈にて三十圓臺は買へ各地より刺戟を演じ居るが ◎又は四十一錢

▲東京は前途安見 越の賣氣旺盛にて堪へ安に附隨するが兎に角剌高の大阪に乘き付けらるゝならんも外米と定期の關係にて內地正米の奈何に依らるゝが如何とするか ▲形勢甚だ混沌 持せられつゝあるが期近に向つて益々擴大するならんと某有力筋は語れり如何者として敍々朝延へ商なり市場は形勢益々擴大するならんとし ◎徹夜協議を纏の ◎責任者 捕捉すると限定し市場は形勢に依りて保託ある常は共後休會を續行されつゝある ▲三期總解 し歩を進めつゝある際にて其の詳細は窺知し難きも結局は ◎合成成立努力

▲商船手堅し 一時は殆んど底拔けの感があつた商船株が昨今は底堅く二十一日の如き紡績株の不況にも拘れず反つて幾分小高い成行きを告げて居るのは海運界の不況も昨今ドン底であらうとの觀測も手傳つて一寸喰ひ下がりの向が勞しなし外づしもあり且つ海運株の商船と郵船を較して居るこ云ふのは同じ海運株たる郵船が多少ある事情を異にするものがあり郵船の配當か四十圓以上の開きとなつて居るので五十圓以上の開きとなつた事から寄物も昨今チラ〳〵現はれつゝあるにも由れりと見に角同株は一時寶流行かへ來がたる次第であるといふ事か今同株が底堅くなつたのであらうか

仁川期米取引所仲買人 (三) 仲買店 電話 一五五 九番

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 (丸) 仲買店 電話長四〇四番三〇 (ヤ)取引所四〇

仁川正米

◎弗々買狙ひの振 定期の休會に連れ正米市場も活氣を失ひ賣買皆無の狀態にて殆んど休會の有樣なるも精米筋は安値には弗々買狙ひ ◎合格品の出廻 ひなれば神力三等合格三十一圓より三十二圓八十錢見當にて小口の商內に過ぎざるが如し地扱玄米二、九圓見當にて弗々出來せしも ◎殆ん皆無 の狀態なり

釜山正米市場

◎引續保合 崩落相場も一寸氣止りの模樣にて二十四日市場は小口商內のみにて三千五百臥出來せり (二十四日釜山特電) ▲大豆 引續き特合商狀なるが限先明合みの模樣なり(二十四日釜山特電)

生魚市場

入荷少なし たい一〇〇あまたい六〇紅小たい五〇ちりたい四〇さわら 〇ひらす三五もらめ二五かれ三三あなご三〇め巧ろ三〇たこ三〇 小物二〇

南大門廻穀

仁川粟	一〇〇九袋
論山白米	一二六臥
水原種	二七〇臥
新義州黍	二六臥
水原玄米	四四臥
新義州粟	一七臥
水原白米	一二〇臥
一山粟	二八臥
沙里院粟	六〇臥
金村粟	一〇臥
新幕小豆	二六臥
平安醸三	九臥
沙里院黍	四五臥
天安白米	一〇〇臥
沙里院黍	四四臥
烏山玄米	四〇臥
金村白米	一八臥
天安醸米	一四〇臥
軍浦粗	一四六臥
軍醸麥	二〇五臥

京釜線伊院 米穀仲買商 (カ) 金子惣一 電略(カ)又(キタ)

仁川米豆取引所仲買人 店主 (圭) 大五仲買店 電話長三〇九番 自宅六〇二番 營業案內 電略 品

仁川米豆取引所仲買人 (マ) 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長六〇五番 一九〇

▲外米の賣戾し 米價暴落して外米業者は特に打擊甚だしき爲め關係輸入商に對し約定米の解約を欲する向勘からざるが最近內地業者輸入業者ら自己の約定額の半數に對し無條件にて買戾者こして其他の輸入商も解約や應諾をなしつゝありこ而して輸入者が所く內地に於て解約を應諾するは西貢地相場が大阪向なるが爲めに內地にて解約したるものは產地にて賣戾すものあれば或は佛蘭西本國に轉賣するものもある由也

なる解決を見んとするもの、如く左もなき限り第二の恐慌は明始至難して例へ幾分相場を壓するにしても此機會に於て市場の面目を一新して堅城を築き直しを開始するが肝要なり

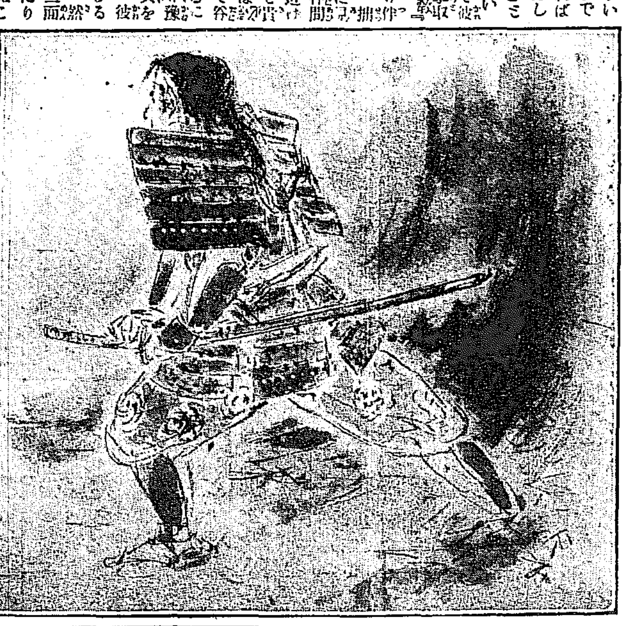
北濱たより

久しく相場は保合ひて何な鐘紡に動くであらうかと思はれたのであつたが綿絲が買過ぎて居つた處へ英米船の動搖が印度及び南洋方面に響けれ來るべしさの前報に接して買方の手仕舞を見るさなりて窺外の激落を告げたるより直接之を關係を有する紡績株に影響の寶物か鼈け同株のメッキも不味きなりたるに併れ他の株も相や動き是附き商內も萬二千株に出來高が保合の場面に暗や不味の商狀を呈したゞば保合は下放れたるもの少し張するも又はあるけれど

毛谷村六助　卅六番角力（一）

百七十七席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

呉用將軍は一萬人の同勢を率ゐて彼の谷間の洞穴の傍へ來りますと、先に注進に來た者が進み寄り〇『恐れながら此の穴の中に居ります』乃で近寄つて密と様子を窺つて見ると、何うやら此の中に居るらしい　呉『ハヽア、偖は此の内に居るのか、ソレ者共此の穴を埋めてしまへ』と已に埋立んといたしますと　教『先づ將軍お待あれ、日本軍を鏖殺しにするは宜いが、それでは二人の王子まで亡くしてしまはねばならぬ、吾々は其の王子を取返すが第一の役目でござるから、其の儀はお止りなさい、拙者が一計を思ひつきました故、先づ〳〵お待あれ、明日拙者が貴田孫兵衛を穴より誘ひ出しますから　呉『それは何ういふ事にいたすのであるか　教『然れば斯様々々にいたしたら必ず出ぬことはありますまい　呉『成程、偽て彼を如何致して擊取るのであるか　教『彼を穴より誘れ出した上は、拙者は敵はぬ態に見せかけて此の谷間へ飛び下りて逃げまする、スルと貴田と云へる者は必ず追蒐け來つて谷間へ飛び下りるに相違ない、其時豫て此の邊に伏兵を構へて置いて、彼に毒矢を射掛けるのであります、然すれば如何に三面六臂の孫兵衛たりとも撃ち取れぬことはありますまい　呉『ウム如何にも是は妙計である』と茲に十分謀し合せて其手配りに及びました、然ればその日は一日陣所へ歸りまして、偖其の翌日に相成ますると、兵先に教開命三千人の同勢を從へまして、彼の洞穴の入口まで乘込んで來まして、ドツと關の聲を揚げて穴の内を覗き込みました、處が更に何の答もございません、依つ教開命は鐵砲組に下知を傳へて四五十挺の鐵砲を一時にドヽと射込みました』なれども何の答へもなく寂然として居ります　教『ヤイ日本の軍勢、卑怯ではないか、斯様な穴の中に入つて潜ぶとは何事である、大明の將教開命討手に向つたり、出來つて尋常の勝負に及べ、吾々が怖くて出られぬか、汝等は臆病未練の腰抜け者』と大音に呼ばはりました、然るに穴の奥に隠れて居りました貴田孫兵衛　孫『吉村氏、最う堪うなつては仕方がない、此の上は拙者が出で花々しく討死をいたすから、お手前は俺までも兩王子をお守り下さい　吉『イヤ〳〵お手前こそは跡にお殘り下さい、拙者が討死をいたす』と双方押し問答をして居りましたが、餘り敵の惡口が激しい處から、流石の貴田孫兵衛は堪まり兼ねたと見えて、今は是れまでと其備陣刀を取つて穴の内より飛び出しました、ソレ大將を撃たすなと皆者も〳〵と穴の中より飛び出しました　明兵『ソレ出たぞ』とドツとばかりに押つ取り巻いて斬つてかゝる、猪口才なりと各自に得物を振冠つて　孫『ヤア〳〵毛唐人確に聞け、日本先陣の大將加藤肥後守清正公の股肱の臣と云はれたる貴田孫兵衛宗春是に在り、吾と思はんものは來つて尋常の勝負に及べよ』と大音聲に呼ばはりました、孫兵衛其日の扮裝は黑皮縅の大鎧を着し、同じ絲五枚錣、白星筋兜猪首に被なし、身の丈六尺八寸、吾が怪力を現はすは今此處ぞと、四尺に餘れる陣刀を振冠つて、當るを幸ひ斬り立て薙立て、荒れ廻りました、見る〳〵間に死骸は積んで山の如く、血潮は流れて川の如く、四邊は一面唐紅、なれども敵は大軍ゆゑ入り代り立代り、凡そ二時餘り戰ひました、其の内に日本勢は追々討死をいたしまする、貴田孫兵衛は僅に殘つた二十ばかりの人數を從へ　孫『目指すは敵の大將なり、此處へ來つて一騎擊ちの勝負をせよや』と大音に呼ばはりました、處へ馬を躍らせて乘込んで參りましたのは大將教開命、鐵の鎧を着用し、戈を振冠つて孫兵衛を望んで斬り下して參りました。



通信要話

（紹）神田釜山郵便局長談

電報の間違は悉して判讀する

前回電報の書方に付いて御話したことも申述べた通り電報の間違ひは發信人の書體が粗雜なるが爲技術者が電報送受の際自然之を誤讀誤信するに依るか又は電信回線の狀態其他送受機械調度の加減に依て電信符號が變現する故障の爲に起ることが大部分であつて劣等なる技術者ならいざ知らず苟くも習修練を積んだ者なら彼等自身の手や耳の間違ひに依て誤謬を釀さしむることは先づ稀有の事實であると申して宜しいのであります、それであるから若し電文に間違ひがあり意味が不明瞭なる場合には其故障の原因に溯り研究推測するときは大抵は判讀することが出來るのである即ち先づ第一に發信人の發信紙に書いた書體が亂雜なるが爲め技術者に於て誤讀の結果電報が間違つたと推測すれば前日說明報の書方に就てお話した節揭げました『書體より見たる誤讀し易き文字及び數字』の表に依りて色々に判讀して見ると自然其誤謬の根據を發見し意味が判るやうになります

京　呉服　京都たまや出張店　明治町二丁目　電話一二九六

三月廿六日　舊二月廿五日
水曜　▲ひのえとら　▲二黑　▲暗劍未申西南　▲友引
▶畛　▲ひらく

▼二黑　物事のあやふやに終る日
▼三碧　物ごとに氣のいらぬ日也
▼四綠　見立損に終るべき日なり
▲五黃　萬事親和の日にて萬事吉
▲六白　思ひがけぬなにで利益を得る事あるやも知れず萬事に吉也
▲七赤　幸運の來る日にて起業移轉旅立等其他何にも吉也
▲八白　親しみ深き嬉しき日なり
▲九紫　人に褒まる樣なる好き日にて萬事進んで爲すに利益あり
▲一白　餘の力の入れ甲斐なき日。

演藝案内

有樂館　米國ユニバーサル會社特約　早川演藝部直營　活動寫眞常設館
▲當る三月廿一日より特選番組提供
▲實寫『マガジン』三十七號
▲滑稽『嫌はれた婿』全一卷　米國ユニバーサル會社特作
▲社會劇『落選まで』全五卷　米國ユニバーサル會社ボ特別特作映畫　ハロルドマクグラス氏原作
作家ワークントン　キングバゴット氏／議員ヘンダーソン　ヘンリーオフトト／女優カザリン　クラーベーヤ／娘ベツチー　エトナハンター
▲探偵活劇『暗黑界の大掃蕩』　米國ユニバーサル會社作　マクナ氏原作タッカ氏脚色
バートン　ジーセンクール／同人ノ妹　イーセンカラニドン／發明家　ターナー／パーク巡査　マツトムーア／惡漢トラパス　ウエルン

浪花館　京城明治町　電話二六〇
桃中軒北海入道浪花節　三月七日より開演連日大入
大好評に付日延に日延の虚偽々二十五日限り
▲心　▲水戸の老公　▲兵衛政要　▲大岡政談　▲一休名僧錄　▲黄金ヶ原大仇討　▲村正砂心錄
京山小圓女　吉川秀若　京山秀嘩　吉田喜代丸　京山圓若　齋入院秀賢　北海入道

壽館　本町二丁目　電話一〇五〇
當る三月二十二日より　東家小錦　如月今若　浪花節競演會
▲義烈百傑　▲千葉物語　▲稻妻お玉　▲吾妻の花相撲　▲河内山宗俊　▲つゞれの錦　▲生首正太郎
桃中軒正之助　敷島奴京虎　長谷川今若　吉田如月　桃中軒小錦　東家小錦

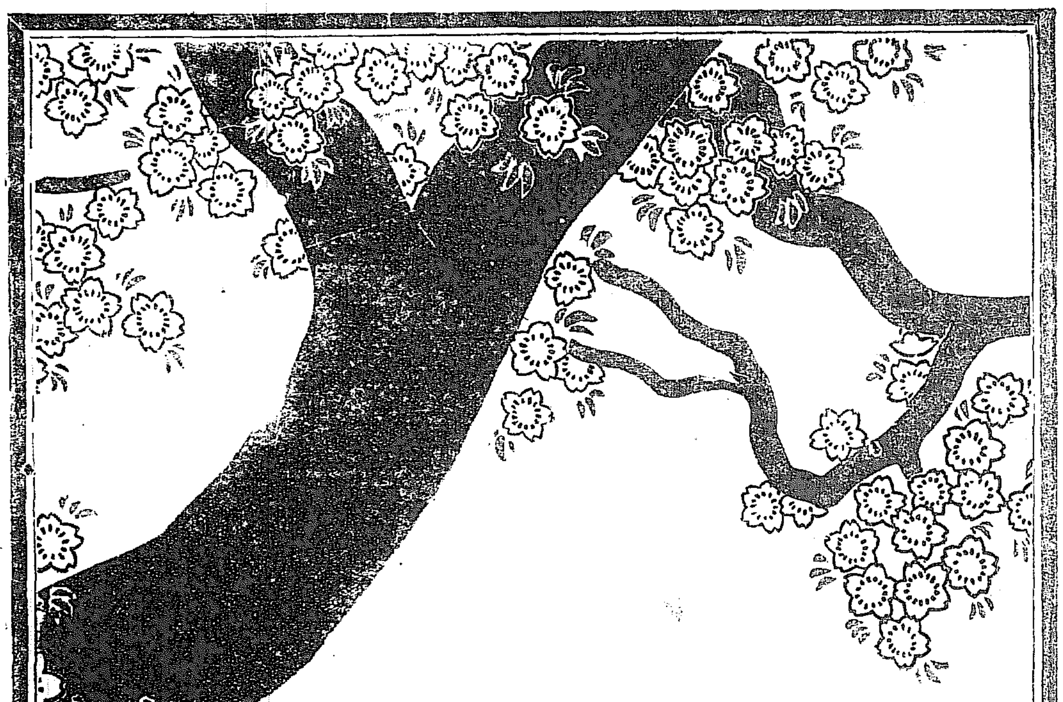
大正館　日本活動寫眞株式會社代理店　櫻井町　電話八七三
▲當る廿五日より特別大提供
▲實寫『瑞西山中氷切出し』
▲米國トライアングル會社作　大滑稽『機械人形』全二卷
▲英國ロンドンヒルム會社作　人情美劇『過去の曲』全三卷
▲日本新派　悲劇『櫻の家』大悲劇　傑作
▲義士外傳『片山萬藏』全四卷
午後六時開館

壽座　京城本町　電話五七八
當る三月廿二日午後六時より　世界的大魔術　松旭齋一行
◇小奇術數番　花子嬢其他　◇ブノ打込み其他　天勝　◇ンパリンキヤビネツト　歌子嬢　◇稽術明シ　天正　◇大魔術　◇空中ブランコ　◇滑稽喜劇　間違ヒノ〳〵
一等上下二等並上三等

黄金館　電話（晝間）二二六六（夜間）二六三七
當る三月廿一日より
▲傑作『神宮左馬之助』
▲日活新派『鐵道王の娘』
▲悲劇『姫百合』

月經　流經新藥レスノリン
閉止四五ヶ月以内に確實の流經作用を以て容易く應用の目的を遂し其効果他藥に優越す
藥價一瓶壹圓廿錢　送料三十錢　切手代用一割增　說明書三錢切手添申越進呈
大阪北區曾根崎上二丁目三六地　常盤藥院

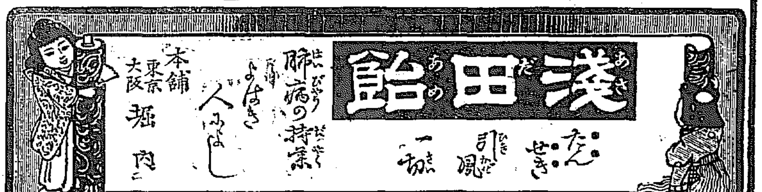
寫眞　寫眞銅版・亞鉛版　京日寫眞製版部



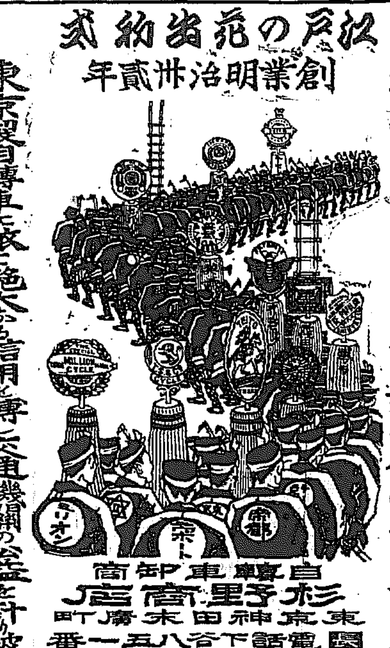
TAKA-DIASTASE
高峰博士發見
タカヂアスターゼ
本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。
本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。
類似模造品は時日經過と共に效力減却するを普通とす、我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。
内外醫學者の實驗報告書無代贈呈す。
東京室町　三共株式會社

肺結核　肋膜炎藥
全國到ル處ニ取次販賣ス當寺製劑ノ肺病肋膜炎專門藥ハ醫療上效驗ナキ差支ナキ至テ安全ノ良藥ナルガ本劑ハ元來救世劑トシテ家傳ナレバ諸肺病肋膜炎ヲ始メ肺結核ハ如何ニ重病モ十日分用ヒテ若シ快治ノ見込ナキ御方ヘハ代金返戻可仕ニ付遠慮ナク返金ノ御請求アレ若シ何カノ故障ニテ取次者ガ返金ヲ拒ム場合ハ町村長ニ依頼シ直接當寺ヘ御通知アレバ當寺ハ無効ノ實否ヲ問ハズ直ニ返金可仕仍テ安心試用アレ藥價十日分四圓代金引替ハ外送料無料
製造元　肥前長崎港口　極樂寺（振替福岡八〇六番）

質　大口歡迎　黄金町長橋町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利敏活



江戸の花名物式
創業明治卅貳年
新たな開業の御方又自轉車御營業の方ハ（意匠登錄）東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候



自轉車卸商　杉野商店
東京神田末廣町
振替東京四八七七番
電話下谷一五八一番
郵便私書函神田局拾四番
C.A. "DAIMILLION" TOKYO

品質第一
銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激増

大阪府堺町　宅合名會社

汽車發着
京釜線（南行）　同（北行）　京義線（南行）　京義線（北行）　同（南行）　京仁線　京元線（北行）　同（南行）

京城日報

第五版

りたるが遂に一國の……に……

東北支那方面並に(四)揚子江沿岸の荷動きを氣構へ近海航路の範圍漸く擴大されるやうになつたか▲惡材が潜在して居る……も是等の……の裏には……明となる……約五萬噸……に加へ……て米國提供船十四萬噸は四五月頃より續々返還されるのであるから(四)歐洲諸國より……スペースは却つて増加する……▲世界的低落 遊動にあり……はないか尤も近海運賃は此處數日來保合ひつゝあるが傭船料は依然下向であり最近の商談は神鶴丸(六)……▲一時的反動 ……に支那……の如くスペース……消化は更に大困……

京城日報

内地人を戒む

所謂朝鮮獨立運動は目下、處々に其の悪戯を演じ、悪戯の悪戯に出でずと雖も、此の風潮の流行は決して輕々に許さゞるものあり。諺に一波起れば萬波之に從ふといへり、時勢の微弱なる脈搏に過ぎざるも、勢の激する所、時に擴大翻地の大波瀾と化するなきにあらず。近來各地に於ける妄動が、著しく惡性に化し、或處にては官衙を襲撃し、或處にては電車に投石し、又或處にては内鮮人の間に鬪爭を醸したる事實ある聞けり。此の傾向は其間に憂ふべきことにして、特に京城以外の内地人にして、彌次馬的に鮮人を壓迫するが如きは、ますます内鮮人間の感情を疎隔し、騷動の輪を大ならしむるものにして、事に寸效なくして、唯百害を貽すのみ、斷じて之を愼まざるべからず。

一體に内地人の性格として、鮮人の妄動を見、チョコサイなり、小癪なり、生意氣千萬なり、おのれ日本男兒の腕を知らざるかと憤慨し、官憲を出し抜きて、リンチ的の制裁を加へんと企つる如き、概めて有り得べきことにして、是は固より今日に始まりたるにあらざるも、實は決して喜むべきことにあらず、それも地方に因りて官憲の手不足に加勢し、其の指揮命令の下に活動するものならしめば、そは格別のことにして、此の場合には宜しく日本男兒の本領を發揮し、許さるべき範圍内に於いて、十分の活動を演ずべきこと勿論なるも、京城又は其他の眼目地方に於いて、取締の官憲に手不足なく、其上軍隊の警備の儼在せるにも拘らず、傍より彌次的行動を起すが如きは、甚だ穩かならざること云はざるべからず。古語に庖人庖を治めずと雖も、尸祝樽俎を越えて之に代らずといふことあり、妄動に對する取締は當然官憲の任務にして、私人の立さわるべき筋のものにあらざるなり。米國にては黑人に對するリンチは今猶行はれつゝありと雖も、其の不法無道なることは、世界の共に指彈する所にして、斷じて之に倣ふべきにあらず。若し内地人にして不心得にも米國式を學び、怨に報ゆるに怨を以てする如きあらば、さらぬだに鵜の目、鷹の目に日本の行動を注視しつゝある某國人等に好個の口實を與ふるものにして、國家の面目を損ずる少からず、最も注意すべきことなりとす。

吾人は常に朝鮮人の同化、内鮮人の一致融合を主張せり。此同化、此の一致融合は、相互の間に隔意なき感情の疏通に依りてのみ得らるべきものにして、威嚇、壓迫、誘惑、欺瞞、其他有らゆる非人道的の手段は、最も嫌忌する所、吾人は内地人に向つて、弱者に對する無理なる同情を強ふるものにあらずと雖も、少くとも非人道、非人情の待遇を爲さゞらんことを欲す。目下に於ける鮮人の妄動の如き、其の動機の如何を問はず、其の元兇たるものは、正しく國家の組織を紊亂するの目的に出でたるものなるを以て、一點の同情を加ふべきなしと雖も、多數の附和雷同せる無知蒙昧の徒に至りては、寧ろ憫諒すべき點なしともいふべからず。此際に處して内地人の立場は、寧ろ鮮人の蒙を啓き、自ら求めて深淵を踏まんとするの愚を諭さゞるべからず。否らずして、徒らに彌次馬的の行動を演じ、殘酷の處置を加ふるあらば、鮮人の感情は益々險惡に赴くべし。宜しく戒愼する所なかるべからざるなり。

體育に就て (三)

陸軍戸山學校長 山田良之助少將講演

若し此の老衰現象を完全に防ぎ止め得ることが出來たならば人間は何百歳何千歳迄も無限に生き延び得られる譯であるけれども夫は到底不可能のことであるからせめて老衰を成るべく遅からしむる手段を講じなくてはならぬ、夫には身體各部の總ての筋肉を思ひ切り引伸ばし又思ひ切り縮めることに依つて彈性の消滅を遅からしむることが最も必要で、是が第三期の人の行ふべき健康保全の最善の方法である、椅子體操は即ち此の要求に應ぜんとして拵へたものに外ならない。所が或人は云ふであらう自分は十分に健康に留意して運動して居る、自分は毎日缺かさず散步して居るのだから別に他の體育方法を實行する必要は無いと思ふと、成る程尤もの説であるが茲に考へて見なければならぬのは元來散步なるものの效能は戸外に於ける新鮮なる空氣や明媚なる四圍の風光等に依つて心氣の爽快にすると云ふことにあるので任意に少許り步行したのでは只下肢と下腹部と肩胛部の筋肉を僅く使用するだけで身體全部には殆んど何等の影響も及ぼさない、夫れ所か一時間や二時間の步行でも步度が通常である以上格別心持の亢進も起らないのだから、勿論全然運動しないで腦のみ使用して居るよりはましだけれども是を以て自分の保健の目的は十分に達せられたるかの如く思ひ做すのは間違ひであつて短距離の散步位りことでは迚も十分なる體育方法と云ひ得られぬ、もつと肝腎な部分を動かさなくてはならぬ。抑も世間の紳士淑女達は平素如何なる仕事を爲して居られるか、多くは運動不足の樣である、運動を廢して腦だけを使用したならば疲勞するだらうか疲勞しないだらうかと云へば勿論非常に疲勞するのである、夫は組織の分解産物たる炭酸の蓄積や終日机に凭れて居て事務に倦むとツヒ欠伸が出るのは是を恢復すべく反射的に營まれる作用に外ならない、此時は最早血液中の炭酸ヘモグロビンが甚だしくなつて堪へ切れなくなつたことを證明して居るのである。血壓を計つて見ても休息して居る時と六ヶ敷い問題でも考へ込んで居る時とでは非常の差異がある、他の動物でも其通りで腦に數學の問題を考へさせると云ふ譯には行かぬが是を小刀で突くとか高熱の物體を近づけるとかして苛め以て著しく亢奮させると其瓦斯交換量は平常の二倍乃至三倍にも達する。疲勞蓄積の結果は身體の疲勞を來し靡川性萎縮を促進することになる。此處で先づ斯る有害産物を速く十分に排泄して然る後各種の運動法に移るのが順序である。故に椅子體操では最初深呼吸を行ふことになつて居る。

財界の新舊人 (GS)

櫻井小一君 (上)

西海生

朝鮮殖産銀行理事

▲朝鮮殖銀は總督府に於て創立した銀行だが、行き頼の關係や其他に於ては朝鮮銀行と同樣緊密な關係にある。云はゞ總督府は殖銀の親分であり、鮮銀は兄分と云ふ所だらう。乃ちその親分の總督府と、兄分の鮮銀とから同數の二名づつの重役が出て、銀行の首腦部を成してゐる。

▲總務部長として文書、調査、檢査、計算の各事務を掌理する理事の櫻井小一君は、仁川稅關長を退官して銀行家となつたのであつて、乃ち總督府側より入つた重役の一人である、君は前度支部長官の荒井賢太郎君に人物を見込まれてゐたらしく、殖銀創立の事あるや、荒井君は君を理事として熱心その筋に推薦したとの噂もある、その推薦の眞否は兎に角、荒井君の如き鍛錬老熟の人に見込まれた所よりすると、君の器局の凡庸ならざるを知る事が出來よう。君は體軀矮小、然し鋭い人物である。

▲東京の出生で、本年三十九歳、明治卅九年の東大出身である、乃ち總督府の和田理財、河内山司計兩課長、鮮銀の吉田營業局長等の同期で、四十年大藏省に出仕したが、直ちに統監府財政監査官として渡鮮、度支部理財局の監理課長、關稅課事務官を歴任、出でゝは元山財務監督局長たりしも、明治四十三年日韓併合の事あるや、總督府道事務官として京畿道財務部長に轉じ居ること足掛け六個年、その間、君の同役の首席理事は内務部長として同勤したものである。以前京畿道の兩部長たりし兩君が、均しく殖銀の理事として又均しく部長職に就くと云ふのも一奇と云へば一奇であらう。

▲仁川稅關長に出たのは大正四年の三月であつたと記憶する。君は自ら稅關長を望んで。地方官の位置を去つたのであると傳へられた。役人としては何れに行くも好評の役人らしい、頗る敏腕の人とか云ふのでなく、君はよく民意の聽くべきは聽き、改むべきは改め、長短補、取捨選擇を行ふ事に於て、多く躊躇せぬ、その仁川時代に於て、此種の例は二三ならずある、道の部長職もさうだが、殊に稅關長は自身必ずしも多忙ならず、多數の人を巧に使つて行く──つまり人を使ふ事の巧拙によつて、成績の良否は岐る、かに見ゆる、それらの點に於て君はよく部下の心服を受け得る德性を有つてゐる、稅關吏の能力を略遺憾なく働かせ得る力があるかに見られた。

俳句の發達 (十四)

鳥堂

十一、結論

新傾向初期の句が俳句の根本性に目覺めたとき、一句を二因子に分析する要求が五七五より七七に便利を感じたのは當然の過程であつた。一つ時短句の流行した時代が夫れであつた。夫に續いて俳句の獨立性に對する意識がやゝに眼覺めて來た。俳句は彼の俳諧に於けるが如き庭同律の拘束下に立つ必要はない。一句の因子は俳句の根本性の命ずる因子性を失はない限り、何處まで展開するとも意のまゝである。しかし形式の破壊はさう一途に成就するものではなかつた。五七五から第一着手として七七に移り七七から出發して更に向ふべき方向を取つて、全て自由なる形にまで展開して來たのである。

一應根本性に眼覺め、獨立性に目覺めて、想から形から、在來の束縛から開放された俳句は、吾等の生命と共調し、生命の流るゝところに就て、隨處に自己を見出すに至つた。夫はいふまでもなく環境の調和や配合から汲み込まれた水ではなくて、自己の深い底から湧出する泉の一滴である。試みに最近の諸作に檢せよ、如何に自然と人生の深處に潜む神秘の囁があるかを。

千鳥がそれもこれも波をのりきつてしまつて。淋しい具師も[illegible]

[illegible]の造詣して。誰にも付はず[illegible]の百姓。段々馬の腹に下つて來るのだ[illegible]

一つなる[illegible]來る。皆が千大數へて。床にくひこむ[illegible]が秋だ

(最近日本俳句摘出)

以上で俳句の發達に就ての概要を語つた。季題やリズムや且は近頃の主觀的客觀的趣味的傾向に就ても語りたい多くがあるが、讀者のお叱りを受けたことでもあり、是で打切る(完)

有樂町より

—(東京支局)—

▲東上中の川上拓殖理事は朝鮮電氣の應募株が豫想の五六倍に上つたのでホク〳〵もので歸つて行つたが是れも鮮農民の一手で引受け得る時代の來るのも遠いことではあるまいと話してゐた▲十八日の貴族院は團體助成法案第二讀會で伊澤多喜男氏の修正案が討議されたが、政府の原案に『豫算の範圍内に於て』とあつたのを衆議院で削つたのを更に復活させようといふのだが之に對し前內閣の[illegible]等の贊成演説あり研究會の水野前内相等の反對演説があつて結局百四十九に對する百十票即ち三十九票の差で否決されたが此の三十九票の意味はいろ〳〵に觀察される▲その演説の中で前田子爵曰く『名將言行錄を讀むに名將たるものは[illegible]をせずとある、希くば修正案提出の諸君に於かせられては名將の襟度を持せられて大局に着眼し[illegible]の小魚などを突くことを止められたいと』

事件解決付タ 直グ歸レ 御影兄

少女世界
面白い十一の話
◎茂子の人形 ◎戸棚の菓子 ◎蝶のいたづら ◎違つた香水 ◎お花兄ちやん ◎金の糸巻 ◎今日ならば ◎お休みの日 ◎水汲みの少女 ◎毛生ぐすり
▽少女七曜日の唄 ▽愛子のお友だち ▽お可哀いさんのお供 ▽少女小說 花少女 ▽千代紙
口繪 お友達を喜ばせる事
定價一冊金二十錢 郵稅一錢

少年世界
四月號出來
▽新作 貴い少年(時代小說) ▽世界お伽噺 ▽探偵小說 怒魔 ▽懸賞 當選 紙上遊戲 動ける獸 ▽魔術の鍵 ▽海戀し心 ▽遊戲 ……
定價一冊金二十錢 郵稅一錢半
東京本町 合資會社 博文館 振替東京二四〇番

京中 龍中 新入學生諸君ニ謹告ス
京中一年教科書定價計十圓八錢
龍中一年教科書定價計八圓六十四錢
右明廿六日學校及店頭ニ於テ定價ヨリ一割引ヲ以テ販賣仕候
京中・龍中兩校教科書指定一手販賣所 大阪屋號書店

日本一式 營業種目 履物卸問屋
各種花緒爪掛一式 各國產表流行ゲタ
大阪市西區新町通三丁目五七 稻垣陽舗商店

菊苗
他に類なき珍種無數有高評噴々 之が頒布に當る責任を以す 培養法名鑑錄 往復ハガキにて申込 大阪天下茶屋

宮內省御用
須賀商會大連出張所
大連市監部通二丁目俄亞銀行前
◎煖房工事設計請負 附屬器具製造輸入
◎水道工事設計請負 附屬器具製造輸入
◎衛生工事設計請負 附屬器具製造輸入
◎喞筒諸機械工事設計請負 附屬器具製造輸入
鑄鐵直管 鑄鐵異形管 量水器 給水栓 サクションホース 和洋大便器 人造石洗面器 大便紙卷器 セメントタイル 化粧付タイル 直式タービン喞筒 ヒストン喞筒 ハイドロリツクラム ボータン喞筒 鐵製水槽
鑄鐵瓦斯異形管 鉛管 止水栓 布ホース ノズル 小便器 排水金物 タイル 大理石 溫水器 ベルバツクサアモフ スチームトラツプ タービン喞筒 ウオシントン喞筒 ホツトエヤ喞筒 ウイング喞筒 鐵骨水槽
防火栓 鉛管 球栓 ゴムホース 水栓 手洗器 浴槽 ミントンタイル 新式湯沸器 ワイヤアモーター 水 ブランヂャー喞筒 デツキ喞筒 ホンプ 陶器水槽
量水器 瓦斯管 ハンドル ホース 洗面器 シャワー モザイクタイル 自動排水器 スタツクバルク マイヤ喞筒 足踏喞筒 風車 [illegible]
制水弁 給水栓 コック 室內消火栓 大理石洗面盤 飲用水 人造石床タイル 化粧[illegible] セントリヒュガル喞筒 エヤコンプレツサー 手押喞筒 瓦斯ヒーター 水道器 [illegible]
本店 大阪市東區今橋四丁目 長電話本局三一八九三番 三一五七番
機械工作部 大阪市東區谷町六丁目 長電話南四三三八番
機械工作部 東京市日本橋區小網町三丁目 長電話本局三七〇四番
鐵工部 大阪市南區天王寺 長電話三七五〇番
鐵工部 神戸市荒田町一丁目
支店 東京市日本橋區本船町三丁目 長電話本局三七〇四番
支店 名古屋市西區西洲町 長電話三三八四番
支店 神戸市北長狹通一丁目 長電話三ノ宮一一〇二番
支店 京都市烏丸通二條上ル 長電話上一九六九番
支店 福岡市中小山町 長電話一二七九番
出張所 兵庫縣武庫郡住吉停車場前
出張所 臺灣臺北西門外街一丁目
出張所 青島河南町四番地

唯一の聖典 日蓮宗 聖語錄
法華の眞髓 一巻に集る
本多日生師著
篇を發心、教相、判釋、祖師傳、人身等の十三に分ち毎篇章を含むこと十有餘、一章數十項を網羅し其數正に二千、拮据數年斯界の權威たる本多日生師が類聚する所にして眞に聖語錄の名に背かず
クロース特製九百頁 定價貳圓廿錢 送料二十二錢
東京 大阪 株式會社 大閣發兌

宮內省御用品 本品の眞價は既に世間に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の特徵にはSWANの英字刻印押捺せり
スワン萬年筆
到所の文具店に在り 大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

大戰後の滿蒙經營策如何 滿蒙の地理歷史 民性習俗宗教 教育產業の百科辭典
(主要目次) [illegible]
全三冊 菊判約三千八百頁 クロース綴函入 定價金貳拾五圓 壹冊金九圓 送料各冊貳拾錢 滿鮮臺各五拾錢 內容見本呈
滿蒙通覽
元帥大將公爵 山縣有朋 陸軍大將伯爵 寺內正毅 男爵 後藤新平 關東都督府民政長官 中村雄次郎 南滿洲鐵道理事 宮尾舜治 國澤新兵衛 貴族院議員 室田義文 閣下題字
大連 福昌公司調査部編纂 發兌
東京日本橋通 振替東京 大阪屋號 電話本局四二八九番
發賣 京城本町二 大阪屋號 電話二〇八六番

第四十一回帝國議會

貴族院本會議（廿四日）
開墾助成法案上程

二十四日午前十時開會
大正八年度總督府追加案（第三號）審査期限を定むる件
同特別會計豫算追加案（議會第一號）
豫算外國庫負擔となる可き契約を爲すを要する件（追加第二號）審査期限を定むる件
右諸案は高橋藏相より提案理由の説明あり通告順に依り若槻禮次郎氏登壇（一）政府は食糧問題解決策として開墾獎勵を策せるが右は開墾助成法にて全うせんとしたるか或は助成法と開墾會社補助の双方に依らんとしたるか（二）斯かる特權會社を許さば他に助成法に依りて開墾する者の困難を來す可し政府の所見如何と質し尚其他十箇條に分ちて例を擧げ利害を説き痛烈なる質問を爲して降壇するや高橋藏相政府は開墾助成法のみにて充分なりと思惟せず開墾會社の計畫あるを聞き之を補助するの意を決せりとて各條に亙り約一時間に亙りて答辯し更に若槻氏と藏相との間に押問答あり十一時五十五分休憩、午後一時十分再開藏相鈴木總兵衛氏の質問に對し他地方に同一目的の會社起らば更に考慮す可く又開墾地は農作、植樹にも及ぶべき旨を答へ次に阪谷金次郎伯若槻氏と同様藏相との言明に相違ある點を擧げ政府の方針を明確にせよと迫る之れに對し藏相の答辯あり次に江木千之氏會期切迫せる際斯る重大問題を提出し政府は會期延長の意ありやと質し阪谷男は會社の缺損を國庫負擔とする惡例を殘すものなりと詰問せしも時藏相委員會に出席中なるを以て議長の自由裁量にて同案は藏相出席を待つ爲め審議を保留し次の日程に移る
地方鐵道法律案、輕便鐵道補助法中改正法律案、以下鐵道關係法律案五件
右七案一括堀川委員長より委員會の經過報告あり菅原通敬氏法の解釋に就き質問し床次總裁の答辯あり可決確定
大正七年法律第三十三號中改正法律案
佐々木委員長の報告あり可決確定と同時に午後二時二十分議長再び休憩を宣す（以下夕刊へ）

鮮臺產米增殖
‖建議案委員會‖

衆議院に於ける朝鮮、臺灣產米增殖に關する建議案（外一件）委員會は廿四日午前十時四十分開會、委員長に天春文衛氏（政友）理事に赤間嘉之吉氏（政友）を互選し引續き會議に入り牧山耕藏氏（政友）提案理由を説明し次で鈴木政府委員（度支部長官）本年計畫せる朝鮮米の增殖は向ふ十箇年に於て四百三十萬石なりと述べ次に下村政府委員（臺灣民政長官）臺灣に於ける農事狀況に就き詳細説明し終るや牧山赤間兩氏と鈴木大塚政府委員等との間に朝鮮に於ける水利事業補助狀態に關し數次問答あり正午散會

西海岸航路委員會
‖原案可決‖

廿四日午後一時三十分開會牧山耕藏氏（政友）より左記希望條件を附し可決され度しと述べ之に對し正木照藏氏（憲政）の賛成あり原案可決同四十分散會せり（東京特電）
關釜聯絡船は不完全にして實際の海運狀態と適應せざるを以て之れが擴張充實を希望す

◇聯盟修正案提出

日本は國際聯盟規約に對する左の如き修正案を最高會議に提出すべしと（巴里電報）
國際聯盟加入國は各自其の領土内に於て聯盟加入國の臣民たる諸外國人に對し平等且つ公正なる待遇を與ふべし

ク氏辭表提出
佛大統領之れが聽許を拒む

講和會議々長クレマンソー氏は佛國大統領ポアンカレー氏の手許に辭表を捧出せり右はウイルソン氏が巴里歸來後ライン西岸處分に對する佛國の要求に背する能はず又獨逸の獨逸系墺太利併合に對する佛國の反對要求をも支持する能はずと確定したる爲にてクレマンソー氏は再度辭表提出に及びたるも佛國大統領は之が聽許を拒みたり（巴里電報）

◇獨作戰防遏協議

最高軍事會議はヒンデンブルグ元帥が一朝必要あらば東部戰場に於ける作戰を指揮すべく準備せるに對し之れを防遏するに足るべき計畫を立つる爲め協議せり（巴里電報）

◇佛國婦人稱揚
園侯婦人參政權論者と會見

（巴里特約員發電）佛國婦人參政權論者シュルン、ベルガー夫人は十三日西園寺侯を訪ひ講和會議に婦人代表者參列に就きこれが意見を求めたるに侯は同情的返事を爲し同時に戰爭に於る婦人の盡力を稱揚せり

◇前獨帝蒙塵辯護

ヒンデンブルグは陳述書を發し前獨帝の蒙塵を辯護し損失と慘禍を防ぐ爲め且つ平和を恢復する爲め右は祖國の爲め最良の手段なりと説けり（紐育電報）

◇獨商戰再開準備

獨逸は封鎖解除と共に商業戰を再開すべく準備中なりと報ぜらる尚貿易調査員派遣の爲費用を支出すべしと（巴里電報）

◇朝鮮親族法
相續法公布

朝鮮人の殺人犯姦通罪等は併合後の今日に至るも其數減退せず其原因一律ならざるべきも多くは早婚の弊に起因するを以て茲に總督府は嚴密なる親族法及び相續法を制定し以て公布し以て此不祥なる犯罪を防止す可く夫々調査を進めつつあるが一方司法省にては箱山參事官を之に參與せしめ同參事官は過日渡鮮當局と諸般の打合せを了したるを以て今後同制令の起案に着手す可く同制令は遲くも八年末には公布の運びとなるべき豫定なりと（東京特電）

◇臨時樞密院會議

廿四日午前十時より宮中東溜の間にて臨時樞密院會議を開き清浦副議長以下各顧問官政府側より原首相、田中陸相、古賀、横田兩長官出席關東都督府官制中改正の件並に[illegible]用令廢止の件に就き金子委員長及び[illegible]より詳細説明し審議に入り原案可決確定次いで支那との關稅定率改正の件に就き幣原外務次官より説明あり原案を可決し正午散會せり（東京特電）

◎鮮商閉店問題の經過

鮮人商店閉鎖に對するその後の經過に關し京城商業會議所大村書記長の談を聞くに鮮商店閉鎖の事實が尚ほ繼續しつゝあることは甚だ遺憾とすべき所なるが實は二十二日午後二時鮮人

▲商店代表者 の懇請により奉春館に於て鮮商の主なるもの約六十名と會見し彼等が既に下打合せを爲し居れる開店の議に關し種々の援衛を爲すべき筈なりしが同日午後は偶々西大門方面騷擾せし爲同方面に於ける鮮人商店主は之を後にして同館に參集すること能はず結局十七八名參會者ありし而已にて當初に於ける出席約束人員の半數にも充たざりし爲遂に開店の議を決すること能はず其儘散會の已むなき事情に立ち至りたる次第なるが鮮商代表者は頻りに事情の已むなきに至りたることを陳謝し

▲會議所の斡旋 奔走を多としつつあり會議所は之に對し當日參集せざりし原因が彼等の稱する如く單に店前騷擾の爲め外出不可能に因りしものなるか將又新になる閉店理由の存するものなるやを夫々調査の上一日も早く開始するやう勸告し置きたり抑も今回彼等が奉春館に參集以て開店の議を決せんと申出づるに至りたる經過は鮮商代表者が夫々手分けして鮮商の戶別訪問を爲し以て其の意嚮を徵せしに大部分

▲開店の希望 を有せるより主なるもの六十餘名は二十二日午後二時を期し奉春館に會同し以て開店を決議せんとせしものにて其前日鮮商代表者は會議所に來訪し是れ迄種々開店に關し斡旋の勞を吝まれざりし事を必謝し併せて前記の經過を述べ愈々二十二日午後開店の議を決し度きに付是非臨席ありたき旨を達したるものなり而かも前述の如き情勢にて未だ開店の運びに至らざるは亦已むを得ざることゝ言ふべし而して此際内地人商人にして或は鮮商の閉店により大恐慌を招きたり或は

▲商品の決濟 を爲さざる故に損失多しと言ふが如き弱音を吐くは甚だ面白からざる事なりと思惟す然りと雖も鮮商の閉店を此儘放任し置くは政治的にも又京城商工業の立場より見るも極めて拙策と言ふべく彼等の閉店が彼等自身の損失延いて倒産等を惹起し又は内地人商店の一部に多少の損失を誘致したりとて我が京城の財界に大變動若くば大恐慌を來すべき性質のものにはあらず然も尚ほ多少は其處に人氣の沈滯商況不活潑等を誘發すべければ會議所の立場としては今後とても出來得る限り

▲彼等の開店 に關し努力する所あらんとす因に市中鮮商の約半數は事實上開店し居るもの如く殊に布帛商の大部分は二十一日其の手形の決濟を爲したる由なり

今回の騷擾に就て（二）

今回の騷擾に際し當局は已に機宜の處置を執りて遺憾無く善後の大策亦儼として決せるものあり而も今茲に東都諸方面の觀察感想を紹介するは唯將來内鮮人の國民的同化融合の歩一歩を轉進す可に際し在鮮内地人朝鮮人中有識の士の參考の一端に寄與するところあらんと欲するのみ（東京支局）

▼慈悲の利劍
陸軍少將 山形閑氏談

今回の朝鮮人の騷狀は誠に無智淺慮憐むに堪へたる事で何と申さうやうも無い、嚢に我が皇室に於かせられては李王家に對して優渥なる思召の數々を賜はり王世子殿下御婚儀の勅許ありて將に御儀を行はれんとした折柄偶々太王殿下薨去に際しては畏くも國葬の禮によらせられ鮮民上下此の有り難き聖恩に對し奉り感激し衷心哀悼の誠意を表す可きその國葬の前に此の惡狀を敢てすることは誠に言語道斷の沙汰である由來朝鮮人の或る一部には巧に虛構捏造の説を流布し良民を惑はして其間に私利を營まんとする不逞の徒が有つて大多數の人民も亦是れ等の虛説を容易に信ずる程智識の程度が低く進歩して居らぬので併合後も此の不逞の徒が彼の宮川の暗殺未遂事件等を釀し治安の妨害を爲したのであるが今回京城で檢擧された百以下三十餘名が主謀者として檢擧されたる中には殆んど此不逞の徒の中心人物を網羅して居るのであるから此際國法の命ずる所に遵つて假借するところなく最も峻嚴なる處分を加ふる事は常にこれ等不逞の徒のあるために惑はされてゐる多數の良民の利益を計る所以で寧ろその大いに德とするところであらうと思ふ今回の如き身の程知らぬ暴擧が大々的に突發したことに就ては愼重に考慮す可き種々の原因もあるであらうが朝鮮人の殆んど全部が内地人と餘り大差の無い心理狀態を持つて居るものとして考察してゐる多くの内地人にとつては誠に良い戒めであつて寧ろその今日の早きに勃發したるを祝さねばならぬ即ち此機會を以て此禍源を根絶するの手段をとり國家の爲め幸福に貢獻したならば今日の不幸は却つて明日の幸福であらう故に今此の徒輩に秋霜の嚴刑を適用するのは所謂慈悲の劍であつて將來内鮮の融合を密にし多數鮮民の幸福を齎す所以である余は嚢に宮川の暗殺陰謀事件に關して公判開廷の際三辯護士が被告の罪を輕くすることが國家の利益よりも重大な事であるかの如き辯論を弄するを見て竊に慨嘆したのであるが其中で流石に政友會總務小川平吉君の如きは最初に被告の行爲を以て國法上許す可らずと喝破した後辯論を進めたのは見上げたものだと感じた次第であるされば今回の事件に就ては日本國民としては國家的見地より發する義憤のために辯護を引受ける辯護士が一人もないので已むを得ず裁判所が辯護士を命ずるといふ位に内地人の義憤の程を彼等に徹底して知らしめたいと思ふのである、斷じて姑息の事をしてはいけない是れ國家百年の爲めである、腐つた肉には蠅が集まる、蠅を寄せ付けない爲めにも斷じて腐肉を切り捨ることは必要であらうと思ふ（東京支局）

◎砂糖消費稅に就て
水口總督府稅務課長談

今回發布になつた砂糖消費稅令は大正八年度即ち此の四月から撤廢になる輸移出稅年額八十五萬圓の

▲歲入を補塡 する爲め新しい稅で之に依て六十五萬圓の收入を得やうと云ふのである砂糖消費稅は内地では隨分高率なのを早くから課せられて居るが朝鮮では全く初めての試みであるので種々の關係を考察して一般生活に急激な變動の起らぬ様に率も總て之を内地現行消費稅の半額としたのである内地は平均百斤に就き五圓と云ふ事になつてゐるが朝鮮は平均三圓となる筈で平均に於て内地の半額以上である理由は朝鮮は下等品の需用が少く上等品の消費が多い爲めである然しながら

▲現在の朝鮮 に於ては稅率のみを内地と比較する事は穩當でない何故ならば朝鮮は砂糖の原價に於ても内地の半額であるから假へば内地で百斤二十五六圓の砂糖は消費稅八圓を加へて三十四圓であるに引換朝鮮では同種の砂糖十八圓に四圓の消費稅を加へて二十二圓ばかりになる筈で未だ大分の開きがある之なれば内地へ土產に持參しても引合はぬ事はない朝鮮では砂糖の消費は主として内地人で朝鮮人の消費は僅少であるので朝鮮人側には生活上左したる影響は無いと思ふ持越品は全部課稅する事になつてゐる

▲課稅は見越 して輸入した向もあつた様であるが之等は全部四月一日以後は規定の稅額を徵收する事になる朝鮮の砂糖は其の全部が輸入品であるので稅金は總て稅關に於て徵收する事になるから稅金を拂ふ事に就て大した苦情は無い譯である何れにしても消費稅のかゝらぬ砂糖を食てゐた朝鮮の一つの特色を失ふ次第である

◎砂糖消費稅令
―二十四日公布

朝鮮は從來消費稅を課せられざりしが大正八年度より輸移出稅撤廢一般會計補給金廢止等の爲め新なる財源として砂糖一斤に就き一圓乃至五圓の消費稅を徵收し四月一日より施行のこと、なり二十四日附制令を以て勅裁を經て砂糖消費稅令公布せられたるが其全文左の如し

第一條 砂糖、糖蜜及糖水には左の區分に依り消費稅を課す
一 砂糖
第一種 砂糖色相和蘭標本第十一號未滿の砂糖
甲 粗入黑糖 百斤に付 一圓
乙 粗入白下糖但し分蜜したるもの白下糖以外の砂糖に加工し製造したるもの及全部又は一部の原料を機械に依り製造したるものを除く 百斤に付 一圓二十五錢
丙 其の他のもの 百斤に付 一圓五十錢
第二種 砂糖色相和蘭標本第十一號以上第十五號未滿の砂糖 百斤に付 二圓五十錢
第三種 砂糖色相和蘭標本第十五號以上第十八號未滿の砂糖 百斤に付 三圓五十錢
第四種 砂糖色相和蘭標本第十八號以上第二十一號未滿の砂糖 百斤に付 四圓
第五種 砂糖色相和蘭標本第二十一號以上の砂糖 百斤に付 四圓五十錢
第六種 氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其の他類似のもの 百斤に付 五圓
二 糖蜜
第一種 氷砂糖を製造するときに生ずる糖蜜
甲 糖分を蔗糖として計算したる重量全重量の百分の七十を超ゆるもの 糖分を蔗糖として計算したる重量百斤に付一圓五十錢の割合を以て算出したる金額
乙 其の他のもの 百斤に付 一圓五十錢
第二種 其の他の糖蜜
甲 糖分を蔗糖として計算したる重量全重量の百分の六十を超ゆるもの 百斤に付 一[illegible]
乙 其の他のもの 百斤に付 一圓
三 糖水 百斤に付 四[illegible]
第二條 消費稅は製造場又は保稅地域より砂糖、糖蜜又は糖水を引取るとき引取人之を納むべし（未完）

◎鮮滿電話問題

奉天商業會議所の報ずる所によれば關東都督府にては大正八年度豫算に奉天安東間電話架設費十五萬圓を計上し施工に確定したるより府遞信局に對し平壤安東間の電話架設を要望したるも朝鮮側にては鮮滿關係の日に密接を加へつゝある今日該線架設の必要あるは充分認め居るも朝鮮内に於て同線以上に必要を感じつゝある箇所少からざれば大正八年度に於ては滿鮮連絡なる平壤安東間は遂に計上さるゝに至らざりしが明九年度には成るべく計上すべき意嚮なりと

◎師團長張宴

第十九師團長高島友武子は師團司令部四月龍山より羅南に移動するに付留別の意味を以て二十四日午後六時より朝鮮ホテルに張宴せりデザートコースに入るや高島師團長は師團新設以來三箇年間一般より受けし深厚の援助を謝し併せて羅南へ移轉後も一層御厚情を望む旨の挨拶あり右に對し山縣政務總監の謝辭あり主客歡談裡に八時すぎ散會したるが來賓の主なる者は山縣政務總監、宇都宮軍司令官、芳賀醫院長、松永道長官、高納副總裁、大野軍參謀長外主要官憲銀行會社新聞雜誌代表者等約百名に上り盛宴なりき

◎仁川解合難

仁川米豆取引所にては内部に公開し難き事情を生じ目下同所重役は鳩首協議を凝らしつゝあるが結局前途に光明を認むる事とならば當中先各限取組三十餘萬石の總解合を行ふ外なかるべしと稱せらる唯當限の受け渡しは明後兩三日中に切迫し居れるに付善後策並に解合談は廿七八日中に完了せしむる外なきが各種の事情は圓滿の解決容易ならざるものあるに似たり

人事消息

▲久保田松吉氏（下關實業家）二十四日入城朝鮮ホテルへ
▲守田除次郎氏（旅順重砲兵隊附陸軍中尉）廿四日不知火へ
▲福富富三郎氏（[illegible]鐵所技師）同

鷄肋錄

露國過激派の横暴振を最もよく現はしてゐるのは食糧問題である普通人民が一日一オンス乃至四オンスの黑麵麭と少許の魚肉を口にして全く餓ゑてゐる中で過激派のみ三度々々を飽食してゐる▲過激派軍隊は今や五十萬の大兵となり夫等は皆充分の食糧の外に月給六百留宛を支給されてゐる▲總ての產業商業は國營化され大概の工場は休止か或は極度迄の衰退減の止むなき有樣だが職工等は解職された時には國庫から數箇月分の賃金を支給される▲過激派を主とした多數の書記や番頭連に非常な給料を支拂つてゐるので政府は通用しない紙幣を亂發して財政はメチヤ〳〵▲だん〳〵運動の好シーズンとなつた一つオールドボーイの運動家をすつぱぬいて見よう▲總督府殖產局工業課長田窯一郎君は高等學校時代には水に於ても陸に於ても選手で野球に於ては第三壘の堅將として剛を稱せられ打擊も猛烈なものであつた▲ボートレースに於ては朝鮮土地會社の高橋慶太郎君等と隅田川で鐵腕を競つたものだ▲高橋君は野球の原理にも精通し其頃野球術の著書なども出したものである▲平安南道長官の工藤英一君は舵手として名將の聞え高く能く漕手の氣合をはかり潮流を測定して敵艇を制し一絲亂れざる態度はなか〳〵見上げたものであつた▲鮮銀の飯泉幹太郎君は彌次の緣長で旗や棍棒などふりまはし甲走つた聲で彌次つたものだ諸君當時の元氣は何うです

◎工業專門校火災

二十四日午後十時三十分東崇洞京城工業專門學校構内[illegible]より出火同建物を燒[illegible]

◎飛行機海に墜つ
三將校重傷を負ふ

廿四日朝追濱海軍[illegible]

◎瓜糖輸出自由
特許製の撤廢

[illegible]爲め糖業トラストを勸說しトラスト以外の糖業者には輸出を許可せざる可きを要請し來りしが二十一[illegible]るものは殆ど之れ無かりし樣子なるを以て制限撤廢と云ふも單に右手續の省略施行を來せるに過ぎず[illegible]

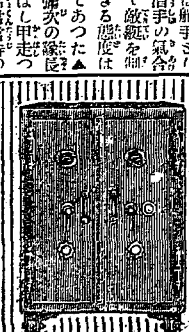
大阪 / 神戶期米特電 / 下關期米特電 [illegible]

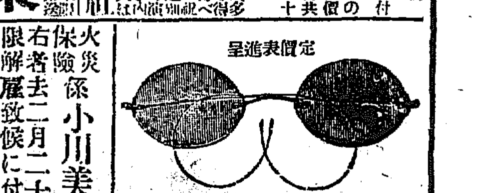
大歡迎忽卅五版
式辭演說資料 名士演說集
▲最新刊▼ポケット形約三百頁美製本堅牢携帶至便
日本青年通信社
定價 金五十錢

財團法人 電機學校生徒募集
本科 一期二期 選科 高等科 電氣化學科
校外生講習生（特殊の通信教授）隨時入學許す
東京市神田區錦町

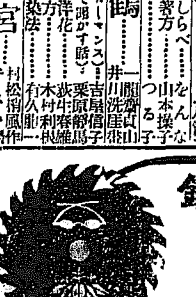
婦人界四月特大號
若き主婦號
▲心の扉 ▲野菊 ▲押上の鶴 ▲眞珠の宮
發行所 東京社

◎看護婦生徒募集
一、募集人員 大連、奉天、撫順醫院九拾名
二、資格 十五歲以上二十五歲以下高等小學卒業程度
三、願書 四月十日迄
四、試驗 四月十八日午前八時
五、詳細は最寄滿鐵醫院又は鹿鳴館に承合せられたし
滿鐵會社 大連醫院


國末式ペント金庫
進歩せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる國末式ペント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ペント金庫の本領とす
內閣諸官省御用 金庫製作所
國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目


定價表進呈
中村眼鏡店 京城本町

火災保險係 小川美武彥
右者去二月二十八日限解雇致候に付爾來當商會と一切關係之候也
大正八年三月二十日
英國 サン火災保險會社代理店
京城府南大門通 泉商會


圓鋸・竪鋸
木工用鋸直輸入
岡谷鋼機械部

米國製捕獸器
けものとるきかい 新荷着
吉川米次郎商店

最新刊
社會問題管見 / 家庭經濟講話 / 風俗著人の罪 / 職員錄
大阪屋號

犯罪ロマンス ―(4)―
京城の不良少年
内地のとは趣が異ふ
彼等の犯行は野生的
隙さへあれば掻攫ひや窃盗を

内地の各都市では、花時の厄介者たる不良少年が跋扈する。殊に東京なぞでは不良少年團があつて年々其筋の手數を煩はせる。彼等は良家の子女を誘惑したり金錢物品を掻攫つたり猥褻や殘行を働いたりして恐ろしい罪惡の底に墮ちて行く。而も彼等の群には中流以上の家庭に育ち

相當の教育を 受けたものが多いところが朝鮮殊に京城の不良少年なるものは其數に於ても其質に於ても内地の不良少年とは大分違つて居る。どちらかと云へば京城の不良少年は犯行に於て戰慄すべきほどの惡辣手段は用ひない。而して團體を組織して罪惡を働くといふほどの組織立たものでない。京城には目下數十人（約四十名位か）不良少年が居るが彼等は孰も下流

貧民の子弟で あつて父兄の保護監督が不行届きであるのみならず甚だしきに至つては父兄が教唆使嗾に因つて罪を犯す者もある。而して彼等は空家又は空地に潜伏し巷間は紙屑箱等を漁り隙さへあれば掻攫ひ又は屋外窃盗を働くを常習として居る。要するに京城の不良少年は内地各都會の不良少年とは其趣を異にして何れも社會生活家庭生活に於て最下層に屬し家庭教育、學校教育が全然缺如して居る。故に彼等の犯行は

頗る野生的で 幼稚である。其代り常習的で罪惡に對する觀念が薄弱で糊口に窮した時は他の財物を掠取する位なことは何とも思つて居ない。今彼等が大正五六年度に於て犯した罪惡の數字を示せば次のやうになる。

放火二、失火二、邸宅侵入五、姦淫一、賭博四十七、殺人一、傷害二十四、過失傷害四、強行一、脅迫一、強盗無し、窃盗四百八十八、盗贓三、詐欺四十二、横領三十五、此等に關する罪六、其他二十

右の表で見れば窃盗の四百八十八件、賭博の四十七件、詐欺の四十二件、横領の三十五件等が主なるものである。窃盗が第一本領であることは明かであるが

賭博は彼等の 娯樂として行はれるもので勿論大仕掛のものではない。猥褻、姦淫、脅迫、恐喝等は至つて尠く内地の不良少年に比べて亂暴さ加減に於ても智能犯に於ても遙かに劣つて居る。然し内地の不良少年は極めて窃盗犯が尠く何れも偶發的の犯罪であるのに比べて朝鮮の不良少年の犯罪は常習的で窃盗癖があるのは始末に困る。

◎放還者 五十六名

西大門監獄に收監の騷擾者中其後取調べの結果放還と決せる者五十六名にして内男學生二十三名女學生十三名あり之等放還者中學生は所屬學校長其他は父兄を呼出し何れも後來を嚴戒の上二十三日正午頃引渡したり

◎石田氏終身懲役宣告さる

前長崎醫學專門學校教授石田昇氏はウオルフ博士殺害の爲め殺人罪第一等として終身懲役の宣告を受けたり（紐育電報）

◎飽迄非違を糺せ
鮮人有識階級の輿論

某當局者は語つて曰く、今回の騷擾に參加したる鮮人の大部分は基督教天道教の教徒及び學生等が主で其他は只一部の鮮人が附和雷同したに過ぎないのである隨つて一般鮮人から云ふと其大部分の者は當初から本事件に關與せざりしものと見て差支はなからう現に各階級人士の

◆**意見を綜合** するに今回の事變に際し教徒と混同視せらる、ことを非常に心配して寧ろ此際官憲に於いて充分非違を訊し事件の眞相を社會に公表して民心の歸趨するところを知らしめ一面參加者の主なるものを嚴重に取調べ貰ひ度いと云つてる者すらある本事變の勃發以來不良鮮人間に種々なる

◆**流言蜚語が** 行はれて徒らに此の妄説に誑かされて徒らに聲を大きくして種々それからそれへと無根の風説を傳へ良民を惑はすが如きものあるが之等は勿論官憲で十分取締つてゐるから愚昧な眞似をしたり此の流言を信じたりするものも追々減少して行くであらう騷擾事件に關聯して

◆**輕擧妄動を** 敢てし官憲の施設に對し反抗的不穩の言動に附和雷動し非望を遂げんとした彼の不良鮮人に對しては警務官憲及び軍隊が協力して疾風迅雷の勢を以て斷乎たる處置をとつた結果暴民の心膽を寒からしめたのみならず一般鮮人も驚異の眼を以て傍觀し各人相戒めて

◆**不穩の行動** を愼んで居る本事件の發生以來有識者は非常に憂慮の念に驅られ一日も速かに事件の鎭定せむことを希望して居るのは事實である（平壌）

櫻の蕾（倭城臺にて撮影）

◎故竹冷翁の 隱れた美擧
箱屋殺しの辯護をした事もある

この程物故した竹冷角田眞平氏は靜岡縣の人、明治七年上京して元老院權大書記官となり沼間守一氏の引立と天賦の才とに依つて着々地位を進め屢府會議員衆議院議員等に選ばれ東京市々區改正局長としては十分腕の冴えを示し現に東京株式取引所理事長代理、市會議員として實業界に勢力を占めてゐる、又辯護士時代には郵船、日本銀行等の法律顧問となり花井お梅の箱屋殺しの辯護をしたので有名である尚ほ俳人としての氏は既に定評あるが俳諧研究に熱心なるは多年出費して沼波瓊音氏の俳諧解題索引の事業を保護して來たのを以て知られるが之れは世に現はれざる美擧として特筆すべき事である

◎卒業生は 引張り凧
各銀行や會社から申込み頗る多い

近時財界の膨脹につれて諸事業の進展は自然人材の要求となり本年度卒業の善隣商業生の如き引張り凧の姿にて卒業後日淺きにも拘らず既に大方の就職を見たるが中には東洋協會京城專門學校に進む希望にて入學願書提出し置きながら俄に方針を轉じて就職せる者數名あり今回も廿三日卒業式を擧行せる東洋協會京城專門學校卒業生十六名に對し各銀行會社等より採用したき旨申込みたる數二十七名あり學校に於ては此振當に困り居れる程にて中には卒業前より既に會社に就職し居れる者すらあり其實行の素晴らしき事同校開始以來全く始めての事なりと

◎戰艦長門 進水遲る
造船職工が 大拂底の爲

昨年十一月進水の豫定なりし呉海軍工廠造船船渠にて建造中なる世界の一大戰艦長門は戰亂の結果民間の造船所が非常の發展を來せる爲其方面に造船職工を

◆**奪はれ** 工事進捗せず加ふるに河内爆沈にて武器引揚等に手を要し從て職工の拂底を來し進水期を本年七月に延期したるが其後一般造船界が悲況に陥りたるにも拘らず職工は依然として不足を告げ隨つて長門の工事に大影響を來せりされど此上進水期を延期すれば我國海軍の戰鬪力にも關係あるべく旁

◆**呉工廠** にては神戸川崎造船所に交渉し技術卓越せる職工五百名の應援を受け尚不足につき神戸三菱造船所より四百名の應援を求め工事を急ぐ事となりたれば今日の状態にて工事を進めば九月を以て進水するに至るべしと

◎十七時間で 大西洋を
佛飛行中尉の 取つたコース

佛國飛行中尉フオンタン氏がダカールよりベルナンブコに向ひ大西洋横斷飛行を開始したと云ふ事は既報の通りであるが是について某飛行通は語るダカールは佛國阿弗利加の西海岸大西洋上に突出した地點でベルナンブコは南米伯剌西爾東海岸の突端で此兩地點は大西洋を隔て、歐洲大陸の一點と南米利加大陸の一點とを結び付くる最も近距離な場所で其距離は約千六七百哩である一時間の航走力百哩として十六七時間を要する譯であるが既に大飛行の壯擧に上つたと云ふから快報の到るも遠くはあるまい

◎手眞似で答辭
濟生院盲啞部の卒業式

二十四日午後一時より濟生院盲啞學校にては總督府濟生院盲啞部第二回卒業證書授與式を擧行せり、開式の辭に次いで『嬉しき御代』を合唱し、塚原部長は學事報告を爲し、それより卒業の盲生七名啞生三名に對し夫れ〳〵證書授與の後矢島内務部第二課長は院長代理として訓示を述べ生徒總代盲生田丁夏の答辭あり次いで啞生崔五龍は手眞似にて答辭を試み四年生の林南元は是を譯述して來賓を驚かせたり、終つて『螢の光』を合唱し二時半式を閉ぢ生徒の作品展覽會を開催したるが當日の主なる來賓は矢島内務部二課長外官民父兄數十名なりき因に卒業生氏名下の如し

▲盲の部　平南田丁夏、京畿金貞鉉、忠南金俊三、全北金洪淳、大阪府大畑恒雄、京畿徐庚順、京城府朴鳳夏

▲啞の部　京城府金斗植、京畿孫映運、忠南崔五龍

◎花より團子主義の
時代の要求に應じて 人氣の好い鐵道學校

南滿京城管理局が本年度から創設した私立京城鐵道學校は愈々其の各科第一學年を募集した愈々今廿五日志願者受付を締切る筈である確實な數字は未だ分らないが廿四日正午現在で驛務科の二百七名運轉科の四十九名

◆**徒弟科の** 四十八名其の他鮮人志願者が約七十名あつた恰度合計三百七十四名であるが廿五日夕迄には總數四百名やそこらはあらうから總計では四百にならうとしても入學を許可されるのは各科合せて百四十名だから割合としては三人に一人となる譯である來月五六日に聯絡試驗を各學校でやつて廿五日に入學式を擧げる相である學校の

◆**當事者は** 曰ふ『今日迄の入學志願者は殆んど各道平均にあるが平安南道は特に多い鮮人志願者中には高等小學校卒業程度と云ふ入學資格のないものが多數あるらしいので其大部分は夫々願書を返戾して居る試驗は高等小學卒業程度で行ふ筈であるから

◆**學力の低** いものは試驗を受けても失敗する事は明瞭だから其の邊は是非考へて貰ひたいまだ教頭も未定であるから學校に關する詳細は話せない學校は當分從前の鐵道夜學校を使用するが本年冬には新校舍が落成するから移る筈である要するに學校は立派な

◆**從業員を** 造りたいのである』志願者は會社員の子弟より一般が多いのは事實であるが社會が著實な職業的方面を切實に要求して居ると云ふ結果だと推せられる、猶同校生徒入學の上は全部寄宿舍に收容する舍費として金九圓を徵收するのみで其外には格別

◆**學資金を** 要さない、其上希望に依つては一箇月十二圓以内の範圍で學資を貸與される規程があるから中流以下の子弟には福音である。

◆列車通學注意

四月一日から全線の列車時刻が改正されるので通學生徒の通學に不便を來たす土地が出來て來る從來は時間經濟上特に此種の通學生徒には貨車便乘を許可して居たが改正後も鐵道は此方針を襲用する筈であるから右希望者は豫め驛長に申出でれば手續きの上では驛長が取扱つてくれる、猶貨車便乘と云つても荷物と一緒にされるのではなく車掌室へ乘せるのだと聞いて居る

◎稀有の大虎
一發で射止む

咸北富寧郡富寧憲兵分遣所附近偵探谷作居の獵師李硬鉉は本月十六日西上面舞袖洞德伊なる山中に出獵中岩陰に一頭の猛虎を認め狙ひを定めて發射せしに誤たず命中し一發にして此稀有の猛虎も絶息せるが右虎は稀有の大虎にて某鮮人古老は此の山の神殿なりと稱したりとこの事なるが皮のみにても五六百圓の價値ありと

◎武裝して騷ぐ

去る十七日突然武裝せる鮮人約百名ニコリスク市に近き山上に現はれ示威運動を爲し形勢險惡なりしが我守備隊嚴重に警戒し一面露國官憲は該團體に解散を命じ武裝解除を迫り漸く鎭定するを得たりと（哈爾賓電報）

◎古着類
ドシ〳〵下落

大戰中知らずに跳上つた諸物價が講和來で掌を翻へすやうに下り坂になつて物によつては八九割も下つた物があるが中でも古着類は反物類の下落につれてドン〳〵下つて來た市内の古着屋に就いて調べて見ると古着類の中で下落の

◆**大關は** 先づ瓦斯物、木綿物等で本年末から見ると平均三四割方の下落で殊に綿大島に至つては五六割も下つて居る次は紺物で銘仙やお召物は一割五歩から二割方又古洋服類では二割五歩から三割方の下落で市内の各商店には高い時ウンと仕入れた物を背負ひ込んで弱り切つて居る此上ドン〳〵下落した日にはトテモ持ち切れなくなつて投げ出す者が出來たらうこの事夫につれて困るのは

◆**質屋で** 斯うドン〳〵下つては貸出しの見當がつかない其上忘も高い時分貸出した物を背負ひ込んで居るので青息吐息の姿である反物類下落の原因は定期相場の下落から押されての事であるが夏物類も從つて下向きであると

◎種痘施行訓令

總督府警務總監部にては今回各道警務部に種痘施行に關する件に就き訓令を發する所ありたるが是に依れば種痘は毎年春秋二季に於て施行期日及び場所を指定し生後九十日以上を經過したる者、初種痘者、初種痘後五年を經過したる者、初種痘又は再種痘の未善感なりし者及び種痘の濟否詳かならざるものに就き之を行ふべしと

◎安東の妻殺し

事は少し舊聞に屬すれ共二月七日平北義州郡…面…洞金又先は妻趙玉伊（二八）の弟…（一七）が同地…の如く妻と喧嘩を始め終に親と親との喧嘩となりし處此の喧嘩の因は妻の弟より起りしものなればとて玉伊に向ひ汝等一名を殴殺すべしとて其場に在りし…を殴り倒し即死せしめ窃かに自宅の温突下に隠し匿きたるが發覺し安東地方法院檢事局に拘禁され目下取調中なりと（大邱）

演藝

▲櫻の家　大正館にては廿五日より新派悲劇『櫻の家』を映寫する筈本寫眞は既に新派に於て大好評を博したる佐藤紅綠氏の傑作小説を脚色したるもの血あり涙あり曲折波瀾に富み巻を追ふに從ひ興味湧くが如く殊に山本一派の熱誠と撮影技師の努力は正に一府の光彩を添へ居れりと其他主なる寫眞は▲冒險活劇西山中氷切出し▲大滑稽機械人形▲人情美談過去の曲▲義士外傳片山萬藏

▲壽座　廿二日より…齋天直一行の大魔術にて毎開け好評を博し居れり

時事新報連載●佐藤紅綠氏傑作
櫻の家
刷新後の特別提供（廿五日より）

專屬俳優の熱誠と撮影技師の努力に依り此大寫眞を完成す是非御一覽あれ

松之助扇太郎合同大車輪　義士外傳 片山萬藏

英國ロンドンヒルム會社傑作　人情美談 過去の曲

大正館

◎店員入用　木材ニ經驗アル者年齡十八歳以上廿五歳位迄至急本人來談　京城岡崎町　清水材木店　眞野明雄

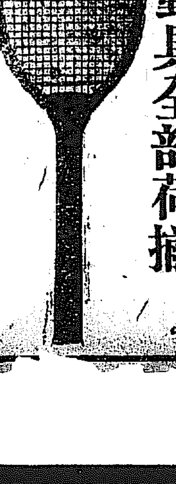
朝顏、草花分與　朝顏五錢三十種三十錢、大輪咲十種十五錢廿種廿五錢、最大輪咲分、黄色五種三十錢十種五十錢、夕顏赤白紫一袋五錢宛、草花十種十錢廿種十八錢川種廿五錢　名古屋市外新川町　平野和兵衛

株式名義書換停止　來る四月一日より第一回定時株主總會終了當日迄株式名義書換停止致候　大正八年三月　東洋畜産興業株式會社

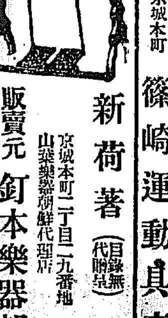
家庭温浴用藥料　博士推稱　日本ラヂウム研究所監製　ラヂウム鑛物　三十回用　三回御試験券　京城明治町一　會川藥店　南米倉町立石幹

海へ陸へ旅行の好季は目睫に迫れり　各種旅行鞄　服入形皮製　二十四圓位より四十圓迄　同ワンゲル製　十八圓位より三十四五圓迄　手提形皮製　五圓七十錢より十三圓迄　同ワンゲル製　五圓より九圓六十錢迄　京城大平通り　京城日報代理部

▲大阪海上火災保險株式會社　▲東京山本大印石版活版インキ各色　▲豐國火災保險株式會社　▲合名會社つちや足袋及いろは足袋　▲蓬萊生命保險相互會社　京城代理店　貿易雜貨商　京城本町三丁目　藤富國太郎商店



運動具全部荷揃　米國製ラケット入荷　京城本町　篠崎運動具店



新荷著（目録無代贈呈）　京城本町二丁目一九番地　山葉樂器朝鮮代理店　販賣元　釘本樂器部

新家庭 四月號

本月號から少し體裁を改め彩色版の口繪を思ひ切つて増加して見ました　石版十二色刷を二枚、三色寫眞版を二枚、着彩寫眞版を二枚にしました。家庭向きの雜誌で斯んなに彩色版の多いのは他に全く例がありません。

長田幹彦氏の時雨唄　渡邊霞亭氏の白芙蓉　東健而氏の滑稽小説　水野葉舟氏の家庭童話　田井羊公氏の上方研究

■流行記事……平山蘆江　■おぶひ袢纏研究……大村嘉代子　■表情心理學……桑田久　■春宵情話赤い花……田中貢太郎　■臺所科學……岸上鎌吉　■食通知たかぶり……平野柴愁　■四月の花……篠原暢園　■婦人身嗜の秘訣……嵐山みさを

四拾五錢　送料二錢五厘　東京芝公園　振替東京一四一七七番　玄文社

ベルベット石鹸

▼普通選擧！

若しも普通選擧が實施された曉には萬人が。萬人。必ず優逸の品質と。低廉なる價格と。而して夫れらにまして　あなたの皮膚を天鵞絨化する　ベルベット石鹸を　擧て投票せらるゝであらふ。

製造元　日本リーバーブラザース株式會社

更に同物の價格暴落を阻止するがのみにて事實輸出不許可となりた…

（百四十）

北島春石作　森田久畫

追撃（三）

理由もわからずに、」給仕が取次になつて引返すと間もなく、高松鋭平がぬく／＼した顔付で入つて來た。

『やアその後は暫く。』と、のつけから親しげに呼びかけたのは、近頃朗氣ごりでゐるからで『俺はすこしも知らずに居つたが貴方は朝鮮の方面へ旅行して居られたさうですな。』

『左様、些の二三週間でしたが……』と、昇一郎は直々しく答へた。

『それでやう／＼昨日戻りました。』

『さうとも知らぬ不念さ、その後一度お尋ねしようと思ひながら、つい何彼と多用に取紛れて失禮を。』

『しかし、昨日戻つたのがよくお判りでしたな。』

『何有、ちよつと髭剃屋橋附近まで來たので。』と、みづから椅子を引寄せて、悠々閑々と腰をおろすると、『御用もする氣もなく立寄つて見ると、昨日朝鮮からお歸りなすつたばかりと聞き、變つたお話でもお伺ひしようと思ひましてな。』

『それはよくお尋ねに。』と、昇一郎もデスクを隔て、椅子に着く。

『今度は非常に變つた話を聞き込んだので、今日はこちらから中溝へお尋ねしようかとも思つてゐたのです。』

『はゝ、なる程。』と、椅子のすゝなも穏ねぬ體で『それは……大分好い儲け口だと見ゑますな。』

『まづ、さう思つていたゞけば間違ひがないでせう。』と、何氣なく答ふるうちにもだん／＼激昂して來たが、昂の滿ちた感情を強ひて押へながら『總ての社用を濟ませた後、京城から釜山への戻りがけ知人の古瀬に案内されて、僕が隣澱といふ鑛山へいつたとお思ひ下さい。』

『鑛山……いやもう鑛山事業と來たら、賀つた買つたの相場に負けぬ面白味がごわすから』と氣を入れ『その鑛澱とはどの邊で。』

『京城と釜山の中間、こちらから行けば大田より少し先方で、永同と云ふ驛から十餘里を隔て、居ます。』

『すると、大分山奥へ入込むのですな。』

『然し、六里ほどは自動車が通ふので、それから鑛山までは韓馬を急がせたら三時間で行き着けます。』

『なる程。』と頷いて『鑛山はどんな狀態でごわした、もう大分採掘がすゝんで、資金の出る見込みがありますかな。』

『ところが、僕は途中から引返したです。』

『へゑ……』と、鋭平は謎でもかけられたやうな顔付した『何う

『貴方は岸上雅己と云ふ人物を御存知でせう。』

貴方とも淺からぬ關係のある事を知つたのです。』

『手前と……』

『左様。』と、昇一郎は冷やかな眼を向け『甚う申したらば、その人物が何者であるか、貴方にも大略の御鑑定は付きましたらう。』

『奇怪な！』

鋭平は訝しげに腕組した。

『俺の友人で朝鮮へ參つたものはなし……ちと解りかねますな。』

『いや、斷じてそんな筈はない。』

『と言はれても、まるで見當が付かぬて。』

『いよ／＼お解りにならねば、僕からお打明けしてもよろしいが』

『それが何より早手廻しで……早速聞かせていたゞかう。』

『宜しい！』と頷いて、昇一郎は言葉強く打出した。

京城本町　千代田號印舗　電話九八七・九八九

◇珊瑚は廢れて全盛を

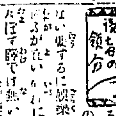
極めて居るのは翡翠です紫水晶ピーシ（支那石）等と云ふ新しい石で出來た簪も流行です次に日用として銀製で出來た物もありますこれは極淡白として若向には最も適して居ります次に束髪では日本髷と同じく蒔繪物が廢れて珊瑚と翡翠の彫刻が流行です次に束髪では角ピンと云ふのが流行で上部の方に彫刻したのや象嵌したのもありますが一般に淡白とした彫刻が多く用ゐられて來ましたが子供には何と云つても

◇リボンが流行

ですが極新しい物では外國製の巾七八寸位なので模樣の草花が流行です花簪ではリボン製や造花製ですが花柳界には摘み細工製が流行です（東京）

新刊紹介

▲經濟時論（七の五）　二十錢東京芝區田町倉鎌社
▲商と工（七の二）　參拾錢東京々橋區弓町一二五社
▲勝友・の二　文學上より論じたる宗教（吉田町）還居社（明照・師・法話（石橋甚吾）禪宗の哲學（鈴木文也）人心心地新組・其他（五錢京城　町三の五〇淨土宗開教院内淨土宗青年會本部）
▲報德　九の二　八錢鹿兒島市山下町三九五同市報德會事務所
▲電氣界　二〇二　二十五錢大阪市北區若松町一二六電界社
▲隣鄰集　一七〇　三十五錢京都市麻布田仲之町一一隣鄰吟社
▲實業世界（三）　三十五錢東京麴町區有樂町一の四其社
▲書道研究（三）　小野鵞堂氏の主宰する書道研究雜誌なり（三十錢東京神田區裏猿樂町三の一斯道會）



後者の領分

▲近來紙上に面白かつた俳論は[illegible]僕は詩夢君に共感する一人だ[illegible]の俳句が斥ける者は[illegible]ない要するに[illegible]いふが[illegible]にしても[illegible]すれば一人一句より[illegible]俳句（二）[illegible]は早く[illegible]下の人と共に[illegible]る鳥帝君のは三で時夢君の（三）の部屋たると思ふ、新來紙上に[illegible]感想が出るのを[illegible]柳端の[illegible]一所代價[illegible]へて下さい（文藝ご）▲俳句には[illegible]との約束がある[illegible]文な俳句と呼ばれたいさて[illegible][illegible]なぞしてある鳥堂さん九州が知れ[illegible]どうせ[illegible]に作り上げた[illegible]俳句・選ぶる必要もあるよい[illegible]好[illegible]なげ[illegible]な名が附けるがよい[illegible]て[illegible]的でよいではあるまい[illegible]

花時の髪飾品

＝向きの淡々したもの＝珊瑚の代りに翡翠全盛

最近流行の髪飾は日本髷でも束髪でも一般に淡白とした夏向なのが多く櫛でも

◇時繪物の樣

な淡い色は餘り出なく白い木甲に金銀白金等を象嵌したものや翡翠の彫刻のある樣なものが尊ばれて來ました形は矢張丸形が流行でこれは都形とも申します極粋向には月形等も用ゐますが之は極花柳界の一部に限られて居る樣です丸髷や銀杏返しには大抵都形を用ゐます只高島田にのみは地紙形と云ふ特別な形を用ゐる樣です次に笄からはバラ風と云ふ自然の儘の櫛も尊ばれます笄では餘り變化はありませんが近頃

參考手入　京城本町四丁目　電話一四八〇番・一八七〇番　津村兄弟商會

大阪財界便り

不振期に在る海運市場は昨今多少[illegible]過ぎずして大勢は容易に樂觀を許さゞるもの、如し即ち（一）北海道[illegible]の[illegible]も必需品の需要が殆[illegible]に至り（二）[illegible]く殊に久しく鮮明し居たる歐洲諸[illegible]なりたる（二）[illegible]大戰の[illegible]必需品の需要も吐盛を加ふべ[illegible]三萬六千噸で四五月に傭船滿期と[illegible]即ち（一）現在川崎造船所の新造船[illegible]にて殆ど繋船の姿にあるもの四[illegible]ると[illegible]なる（二）此の結果從來[illegible]の大註文が頻來してゐるが如く[illegible]市場に喧傳されてゐるが[illegible]は[illegible]〇〇〇噸）が當月渡し半箇年[illegible]五十錢で久原で借りた[illegible]る結果であるが[illegible]下落はすべきも騰貴すべき傾向な[illegible]のみならず歐洲船の就航が近く[illegible]航路[illegible]の近海航路の前兆と見られる[illegible]に[illegible]船が阻止されて[illegible]は不[illegible]するのであらう（大阪）

淋病患者の福音

新藥エルモールの發見（富士製藥會社の名品）

■男子の淋病

若い青年の出來心から、又は世間の交際上、一寸花柳界に遊んだ四五日目から、何だか妙にムヅ痒い樣な心地がして又時々蟻が這ふ樣な痛さも感じ、次第に小便を催すと其の出て來る、膿が漏れる程痛い、これした膿が黄色の膿が淋病の症状である。それが急性淋病が惡いと治療せずに捨て置くと何時しか痛みが薄らぎ膿も少くなり素人目には殆ど全快した樣な心地になるが酒を飲むとか疲勞の樣な原因などには又元の急性淋病の樣に再發して來て非常に苦しむこれを慢性淋病と云ふ

■女子の淋病

女子の淋病は俗に云ふ消渇は明子の淋病が傳染して起る病氣だが男子のそれと違つて痛みは烈しくない、只腰の重み下り物を見、非常に冷けがして腰が冷ゐる、これが段々進んで遂になるのである、幸に夫か全快しても、もう傷疵する事能はず女の命を奪ふ所の恐ろしい子宮病を誘發された冷やかな家庭に一生を泣いて暮す事になる、故に、もし夫が妻に傳染せしめた事は夫婦共が治療するがよい。夫婦がお互に秘密にして別々に治療してゐる人を見るが夫が全快しても妻から傳染して同時まで經つても全快せず立派な慢性にして仕舞ふ事になる

■慢性の危險

慢性淋病程困つた病氣はない。自分では殆ど全快した氣であるから平氣で相手に傳染させるし、ウッカリ、膿が手に付いて眼に入れば一夜にして盲目になる風眼を起すし足の關節に淋毒が廻れば膝が痛くて歩行の不具となる。持に男子の淋毒は内行して睾丸炎を起せば苦しさ痛さは筆紙の盡し能はざる所、幸に其が全快しても最早妻をして懷妊せしむる能はず、先祖の祭も絶たれて仕舞ふさればこそ其程の前苦はない慢性患者でも左記藥の發見を幸ひ此際一日も早く之が根治を計るべきである。

■療法の比較

現今淋病の療法に三種ある。其一は洗滌療法でよく專門醫で行はれるが、不熟練な醫師が行ると彼の恐るべき淋菌をだん／＼奥の方に追込む危險がある、況や素人が洗滌するのは絶對に避けねばならぬ。其二は注射療法で是理としては最新のものであるが未だ研究中のもので效果は尙研究すべきものである。其三は服藥療法で危險なく最も安全であるが、其効果遲緩にして一箇月も二箇月も服藥せねば全治せしむる事が出來なかつたのは甚だ遺憾であつた。

■新藥の發明

そこで富士製藥會社の研究室にて幹部の擢學博士・藥學士以下一同が熱心研究の結果、淋病の新藥エルモールと云ふを發見した。動物試驗の結果は僅々卅分時にして速效あり殺菌力強く惡作用なく理想的の治淋藥として最近醫學界にも確認され專門醫師にもドシ／＼實用されて來た。然しこれは會社の大なる名譽である。然し、これは質效でない、から、効能を奏して一般に人に名が響き出しなかつたが、今度受け一般に新藥を提供して藥業界に驚く高く評判された者は、治淋劑は此において世の好評を見出したのであるが、其の秘密に入知れず、治療する事が出來る樣になつた。尤も治淋エルモール錠は藥局に其處でであるから服藥後一時間以後に直にフジコールと云ふ藥を飲んでこれを服用せしむると云ふ療法で次に藥學を應用し治療するが故に外へ入院して治療する必要なく、又人を煩せりの療法が自宅で出來る樣になつたのは同會社のメイル・ダーの特色である。

一ヶ月分金二圓八十錢（二週間分）金一圓四十錢（他に二日分ジコール同量二個合計四圓八十錢）でありますがチト藥價が高いと思ふ安くければ醫師に掛かるよりはズッと安く且つ秘密に治療が出來る特色があり尤も七日分の小瓶もあるがそれでは餘程の輕症でない以外は其の効果が付かなく、二度目の註文をする暇に折角治りかけた病氣がもとに戻りする事になるから是非一ヶ月分を服用する方が勉論得策である。ぬ迂闊な慢性患者の爲にらゆる治療に手を盡しても快せ間八十錢分で充分だが是れまでの在年の四分をお勸めする方は此四十錢分を添えて求める。

二週間分と[illegible]藥の外更に富士三十一號治淋藥を添へる。かく三藥併用すれば尙效果の理想的となり、此三藥一齊連治すれば藥理コンビナチオンス、メトーデの實驗となり、故に此三藥一週間分を無料で提供するから極慢性のこんなる事が出來る、故に此三藥として一週間にて提供する方は初めから之を用ゐるが御利益である

■御註文の方法

御註文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價御送金次第其晩即日御發送します。直ちに治療しますから其の者の心得を添へ直ちに治療します又ハガキにて申越次第藥價は代金引換にて御送りして宜しく又急を要する淋病は一日も早く服藥を要しますから電報で御註文されば代金引換にて直ちに送藥します。此電報文はエフ〇ナニエムランバンチナンノタレと御記載を願ひます。右のエフ〇の三字でエルモール錠フジコール代金引換の意味になり其の下に御住所名前を記載されゝば宜しい。若し又御同伴用の方なら二マン〇で分ります。かくの如く藥價は確定し藥價は迅速なる註文の方法を規定す。恐るべき淋病を誰にも知らず秘密に迅速に治療せしむる事が出來ます。外に何が存在し尙隨分治療を熱いて御知らない方をも、ご贊へ薬もあるが、貴方の如き方も實際に出來上の効果に從つた方でも是非一度は此新藥を御試みあれ、ごんなにひどい淋病の消渇にでも遂の如く速治いたします、以上の廣告に記ててウソ僞りは申上げません

發賣所　東京神田小川町六　富士製藥株式會社　振替東京三一〇八〇番　電話本局四一三三二〇番　（駿河臺下で電車を降りると三省堂の隣り三軒の西洋館です）

本校卒業生の成績は校外生と雖も

自動車

運轉手技術優秀なり（收入多大なり）高等科三年本科半年專科一ヶ月卒業及校外生募集中（込手急送）

東京市京橋區八丁堀　東京自動車學校
大阪市南區　大阪自動車學校
福岡市中島町　福岡講習所

東日案內

男女見習一四名入用　東京日日新聞京城支局

常磐七拾錢迄（寫眞代）右以上の[illegible]

▲小僧入用　十五六歳　一二十歲迄一名入用　京城太平通二丁目　宮田屋

▲商業事務員　元町二ノ三　小林　電話一八九六

▲電話讓物あり　御希望の方は　但し二ヶ月もの

■電話讓物あり　御希望の方は電話二八二七番へ

電話讓受け度し　但仲介者御斷り　京城明治町二ノ二丁目　川北

●金剛[illegible]　出來を爲にする[illegible]　京城大和町　[illegible]

店員入用　十五六歲迄　京城大和町　電話二四六三

松菊屋小間物店

店員募集　二十名　本年小學校卒業の者　京城本町二丁目　山岸天祐堂

◎電話讓渡し　[illegible]左記へ　吉市町二丁目　[illegible]

●小供入用　京城南大門通一丁目　鐵商合資會社　南方商店

●電話讓りたし　呼出しも可　電話番號

外交員招聘　年齡四十以下、履歷書持參の上本人來談　京城太平通二丁目　[illegible]商會

ゴム玩具大賣出し　定價表送呈　京城太平通二ノ六　大陽商會

廣告立替　電話番號[illegible]　京城府本町　西村商會

◎薩摩五絃琵琶教授　每週月水金土曜日　京城府本町　[illegible]

毛皮なめし仕立　京城本町二丁目　[illegible]

監獄製作品　京城府[illegible]　京城監獄

●かみゆい　婦人髪結　本年[illegible]

男女生殖器病

東京神田カヂ町五　東京眞空治療研究所

洋家具は熊平

京城　熊平支店

眼科專門　京城明治町二丁目　荻原眼科醫院　電話二二六七番　荻原長鐵

宮崎式ペーチカの能率功果に付ては昨年度既に東洋拓殖會社大同生命保險會社殿、鮮銀殿、古城梅溪殿其他から御賞讚を得て居ります　京城府漢江通八　宮崎組　電話龍山五四

細吹機械　大邱府大和町　東屋商店

皮膚科　肛門科　京城明治町二丁目　佐藤病院

大日本優等清酒　品質純良　衛生無害　嘉納合名會社　京城本町二丁目　前田酒店

產科　婦人科　京城　醫學士　二宮亮吉　二宮醫院　電話一二〇一番

資本金六百萬圓　積立金金百貳拾五萬圓　株式會社十八銀行京城支店　同新龍山支店　同龍山出張所　銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

結核專門　古賀病院

九州線鳥栖驛より四丁

大阪市　有田ドラッグ　りん病　ばいどく　醫科大學

朝鮮のにせ物　京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり御着せられざる樣御注意を乞ふ

有田ドラッグ　グッドラッグ　京城南大門外　京城黄金町　釜山　元山　平壤　仁川　大連

大阪商船出帆

[illegible]

尼崎汽船出帆

[illegible]

朝鮮郵船出帆

▲元山浦塩線　▲京義丸　▲平壤丸　▲平安丸　▲浦汐行　▲濟州島行　▲大連行　[illegible]

日本郵船出帆

[illegible]

共同汽船出帆

[illegible]

五光商會汽船出帆廣告

[illegible]